

SONY®

FM/AM ミニディスクレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDX-G77REC

©1999 Sony Corporation



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなうなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

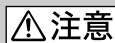
警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指狭み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
はじめに	7
まず、本機をリセットする	8
時計を合わせる	9
各部のなまえ	10
MD・ラジオの聞きかた	12
MDに録音する	14
ワイヤレスリモコンの操作	16
メニュー画面/リスト表示について	18
ロータリーコマンドの操作	20

MD・CD

MD/CDを聞く	22
繰り返し聞く(リピート再生)	26
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	27
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)	28
プログラムを変える (プログラム変更)	31
ディスクに名前をつける(ディスクメ モ/カスタムファイル)	33
ディスクを名前で探す(リスト)	35
CD TEXTを見る	36

MDの録音

CD/MDの再生中の曲だけを録音する (トラック録音)	38
CD/MDの再生中のディスクを録音する (ディスク録音)	40
CD/MDから好きな曲を選んで録音する (プログラム録音)	41
ラジオ放送を録音する (エアチェック録音)	42

MDの編集

曲を消す(イレース機能)	44
曲を分ける(ディバイド機能)	47
曲をつなぐ(コンバイン機能)	49
曲を移動する(ムーブ機能)	50
ディスク名や曲名をつける (ネーム機能)	52

ラジオ

放送局を自動で登録する	55
特定の放送局を登録する	59
放送局を名前で探す(リスト)	60
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	61

テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る	63
別売りのビデオを見る	65
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ)	66

携帯電話

電話をかける	67
電話を受ける	68
その他の操作	69
その他の設定	70

サウンドの設定

DSOを設定する	71
イコライザーを使う(EQ)	73
リスニングポジションを設定する (POS)	75
音のバランスや音質を設定する (バランス)(ATT) (ソースサウンドメモリー)	77
スピーカーの出力を設定する	78
サブウーファーの出力を設定する	80
スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA)	82

その他の操作

音や表示などの設定を変える	83
フロントパネルの角度を変える	85

使用上のご注意	86
MDの編集について	88
MDのシステム上の制約について	89
故障かな?	91
エリアコール一覧	97
放送局一覧	98
保証書とアフターサービス	105
主な仕様	105
索引	107



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

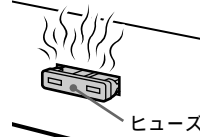


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



内部に水や異物を落とさない

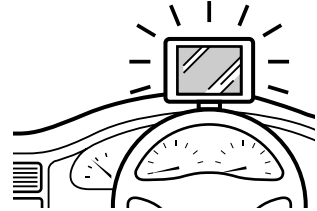
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

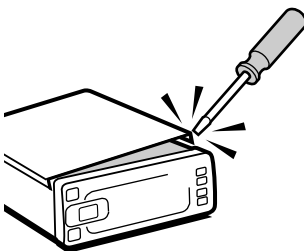
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

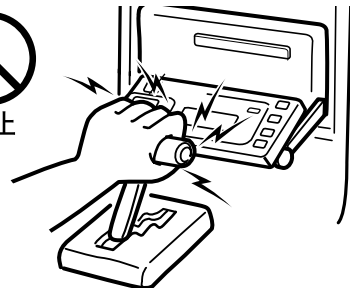
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



禁止



走行中はフロントパネルを開けない

車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、MDの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを閉めてから走行してください。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



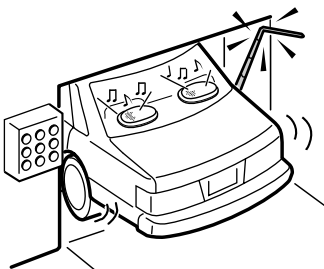
フロントパネルを閉じるときは
フロントパネルに傾斜をつけている(85ページ)ときや、開ききっているときに無理な力を加えて閉めたりしないでください。故障の原因になります。必ずOPEN/CLOSEボタンで開閉して下さい。



本機とCDプレーヤーCSX-G44を組み合わせる場合は、片方のディスクを取り出そうとするともう一方のフロントパネルが自動的に閉まりますのでご注意ください。

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときは電源をOFFにする

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



ACCポジションのないお車のときは
本体のOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように十分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



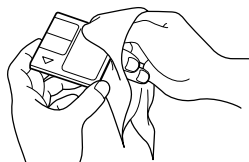
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



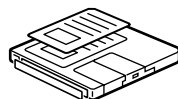
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

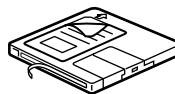
- 指定の場所に貼ってください。



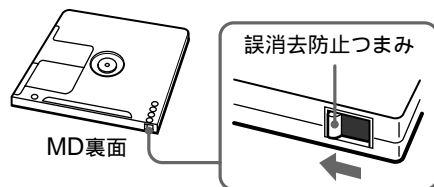
- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



録音内容を間違えて消さないために誤消去防止つまみをずらして、穴の開いた状態にします。再び録音するときは、つまみを元に戻します。



はじめに

- 本機はMDとラジオに対応。
- CDやラジオからオリジナルディスクが作れるMD録音機能搭載。
- ラジオから録音時に最大10秒前までさかのぼって録音できるタイムマシーン録音機能搭載。
- 広がりのある音場を創造する新機能DSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能付きHX-DSP搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドEQ(イコライザー)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンドーを付属。

また、以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー、CDプレーヤー CSX-G44
- DVDナビゲーションシステム NVX-DV733に付属のTVチューナー
- 携帯電話用ハンズフリーキット XCH-1000

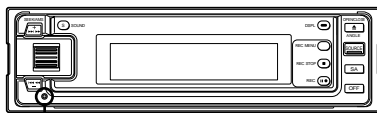
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のロータリーコマンドーおよびワイヤレスリモコン、別売りのCD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオ、携帯電話用ハンズフリーユニットを接続した場合の操作方法についても説明しています。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
 - 本製品の故障、誤動作または不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
 - あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。
- (お問い合わせ先(社)私的録音保証金管理協会 Tel.03-5353-0336)

まず、本機を リセットする

初めて使うときや、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押す。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



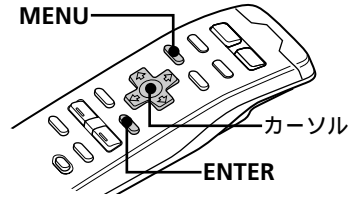
リセットボタン

ご注意

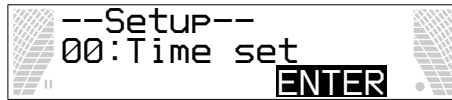
- リセット後は、必ずOPEN/CLOSEボタンを押していったんフロントパネルを開閉してから、他の操作をしてください。また、すでにMDが入っている場合は、挿入し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、「NO Disc」などのエラー表示が出て正しく動作しないことがあります。
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。
- フロントパネルが開いている時は、OPEN/CLOSEボタンを押してフロントパネルを閉じてから、リセットボタンを押してください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。
この設定はワイヤレスリモコンで設定します。

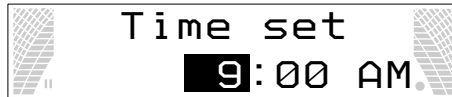


- 1 MENUボタンを押す。
- 2 カーソルボタンの↑または↓を押して「Time set」を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。

「Time set」画面が表示されます。



- ① ↑または↓を押して「時」を合わせます。
- ② →を押して「分」の位置に移動し、↑または↓を押して「分」を合わせます。
↓を押すと数値が戻り、↑を押すと数値が進みます。

- 4 設定後、ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常画面に戻ります。

ちょっと一言

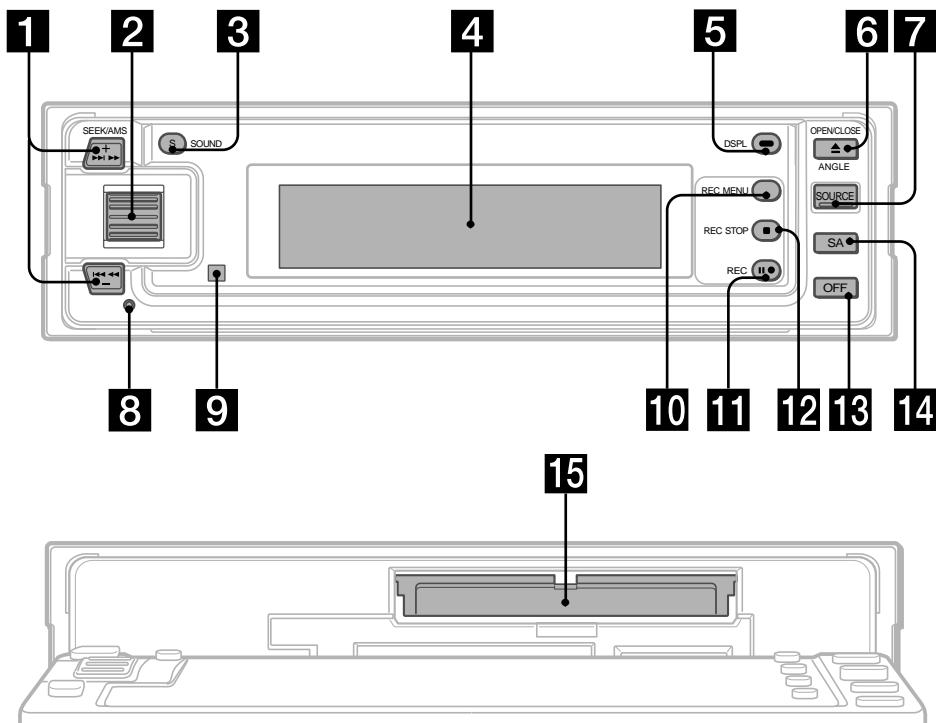
OFFボタンを押して本体の電源を切っておくと、時刻に応じて表示窓のパターンが変化します。

午前6時～午後6時：太陽

午後6時～午前6時：星

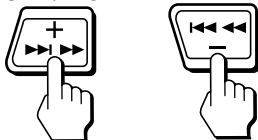
各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



1 シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (頭出し / ラジオ選局)
12 13 15 68 69

SEEK/AMS



ラジオ/ TV	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)
------------	-----------------------------	-----------------------------

CD/MD	次の曲へ 早送り (押し続ける)	前の曲へ 早戻し (押し続ける)
-------	--------------------------	--------------------------

TEL	発信履歴へ	着信履歴へ
-----	-------	-------

2 ボリューム・ムイコライザー・ポジション/
ディーエスオー・バランス/フロント/リア/サブ・フアー
DSO/Balance/Front/Rear/Subの調整
/リスト表示) 12 13 67 68 69
ジョグローラー (回すと



(A) (B)

音量調節	大きく	小さく
------	-----	-----

イコライザー プリセット設定	次へ	前へ
-------------------	----	----

リスニング ポジション	次へ	前へ
----------------	----	----

	Ⓐ	Ⓑ
DSO	次へ	前へ
バランス	右へ	左へ
フロント	大きく	小さく
リア	大きく	小さく
サブウーファ- の出力設定	大きく	小さく
TEL	次へ	前へ

押すと



ラジオ	放送局に名前をつける*1/ 一覧を見る
MD	一覧を見る
CD	名前をつける*1, 2/一覧を見る
テレビ	放送局に名前をつける*1/ 一覧を見る
TEL	発信 / 着信 67 68

*1 2秒以上押したとき

*2 カスタムファイル対応のCDチェン
ジャーを接続したとき

3 サウンド イコライザー/ポジション/ディーエスオー/バランス/
SOUND (EQ/Position/DSO/Balance/
フロント/リヤ/サブウーファ-
Front/Rear/Sub)

4 表示窓

5 ディスプレイ
DSPL (表示切り換え) 12 13

6 オープン/クローズ
OPEN/CLOSE (フロントパネル開閉) 12
▲ (ディスク取り出し) 12
▲ (ディスク取り出し)
ANGLE (フロントパネル傾斜角度切り換
え) 65

7 ソース
SOURCE (ソース、バンド、ユニット
設定切り換え) 12 13 67 68 69

エフエム FM	FMバンド切り換え
エーエム AM	AMバンド切り換え
シーディー CD	CD再生、CDチェンジャー 選択
エムディー MD	MD再生、MDチェンジャー 選択
テレビ TV	TV/AUX切り換え
テレフォン TEL	発信 / 着信拒否 (着信があっ た場合)

8 リセットボタン 6

9 リモコン受光部

10 レコーディングメニュー トラック/ディスク/プログラム
REC MENU (Track/Disc/PGM/
タイムマシンレコーディング
Time Machine REC切り換え)
14 15 38 39 40 41 42

CD/MD録音時 Track/Disc/PGM/
Normal REC切り換え

ラジオ、テレビ、Time Machine/
TEL録音時 Normal REC切り換え

11 レコーディング
REC (録音 / 録音待機)
14 15 38 39 40 41 42 43

12 レコーディングストップ
REC STOP (録音停止) 14 15 39 40 41 43

13 オフ
OFF*3 (電源切り) 12 13

14 スペクトラムアナライザ-
SA (表示パターン切り換え) 62

15 エムディー
MD挿入口 12

*3 ACCポジションのないお車のときは、本
体のOFFボタンを2秒以上押して時計表
示を消してください。OFFボタンを短く
押しただけでは時計表示が消えず、バッ
テリーあがりの原因となります。

MD・ラジオの聞きかた

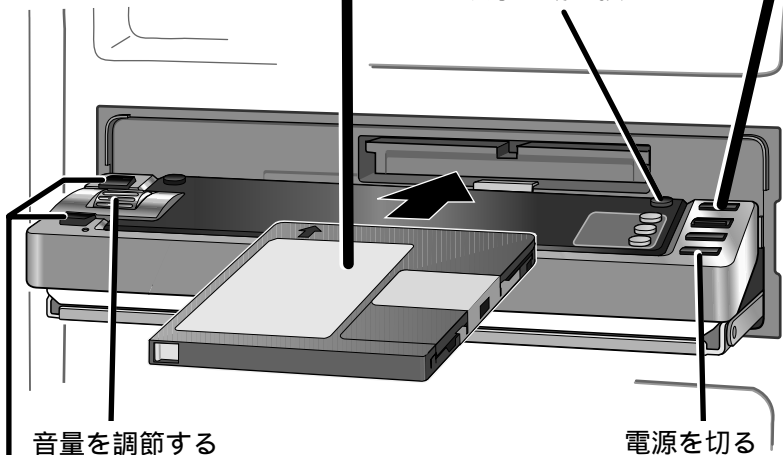
MDを聞く

2 MDを入れる

ラベル面を上にして矢印の向きに入れます。
自動的に再生が始まります。

1 3 フロントパネルを開閉する

表示を切り換える



音量を調節する

電源を切る

聞きながら探す(サーチ)

再生中にSEEK/AMSボタンを押し続ける。

▶▶▶▶ : 先に進める

◀◀◀◀ : 前に戻る

指を離すと、そこから再生されます。

曲の頭出し

再生中にSEEK/AMSボタンを押して離す。

▶▶▶▶ : 次の曲へ進む

◀◀◀◀ : 曲の頭や前の曲へ戻る

戻したい曲の数だけ押します。

ディスクが入っているときはSOURCEボタンを押して「MD」表示にすると再生が始まります。

表示を切り換えるにはDSPLボタンを押します。

ディスクを取り出すにはOPEN/CLOSE▲ボタンを押します。

止める / 電源を切るにはOFFボタンを押します。

ラジオを聞く

2 聞きたい放送局を選ぶ

- ① 押してリスト表示にする
- ② 回して聴きたい放送局を選ぶ

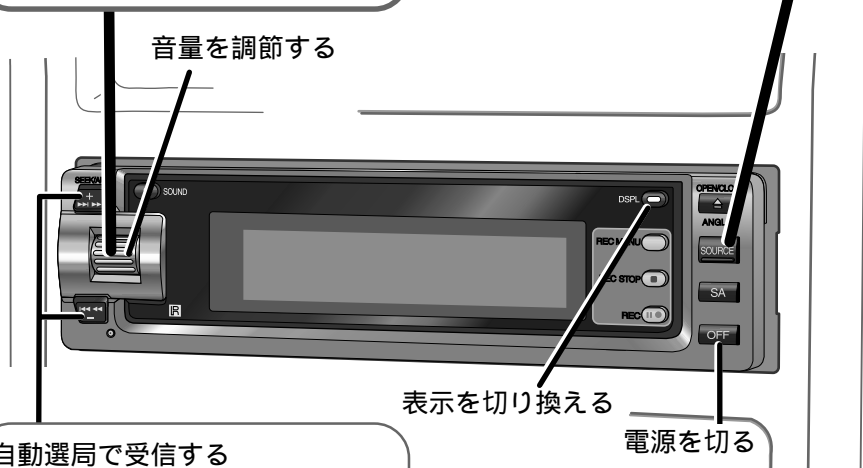
放送局の登録についてくわしくは55～56、59ページをご覧ください。

1 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとにFM ↔ AM*と切り換わります。

* AM Skip設定がONになっているとFM放送しか表示されません。(57ページ)

MD・ラジオの聞きかた



自動選局で受信する

押して離します。

自動的に受信すると止まります。

▶▶▶▶ : 高い周波数へ

◀◀◀◀ : 低い周波数へ

聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで押し続けます。

フロントパネルは開けてから約35秒後、自動的に閉まります。

ご注意

- 最後にボタンを操作してから約35秒後に自動的に閉まります。
- MDを挿入しないと約35秒後にビピッという警告音となり、その3秒後にフロントパネルは自動的に閉まります。
- MDを排出した後、挿入口から取り出さない場合は、約15秒後にMDが引き込まれ、フロントパネルは自動的に閉まります。
- 開いた状態のフロントパネルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

MDに録音する

ラジオを録音する

ちょっと一言

②→③→①の手順でも、受信中にRECボタンを押してからMDを入れると録音待機になります。

① 録音用MDを入れる

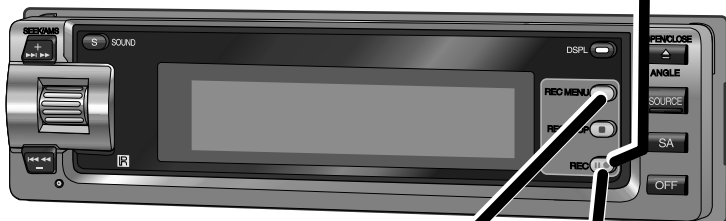
12ページをご覧ください。

② 録音したい放送局を受信する

ラジオの受信のしかたについては、13ページをご覧ください。

③ 録音待機にする

ボタンがアンバーに点灯し、表示窓の「■」表示が点滅します。



④ Time Machine RECを選ぶ

Time Machine RECを選ぶと、RECボタンを押し遅れてしまった場合に、最大10秒前までの放送を録音できます（タイムマシーン録音機能）。一度設定しておくとも変更するまで同じ設定になります。

⑤ 録音を開始する

ボタンが赤色に点灯し、表示窓の「●」表示が点滅します。

録音をやめるには
REC STOPボタンを押します。

ご注意

- 曲番（頭出しマーク）は、録音を一時停止したところで自動的に付きます。
- 録音中は放送局を変えることはできません。録音待機にしてから変えてください。

CD/MDを録音する

別売のCD/MD機器を接続して本機のMDに録音できます。

ちょっと一言

②→③→①の手順でも、CD/MD再生中にRECボタンを押してからMDを入れるとそのまま録音待機になります。

1 録音用MDを入れる

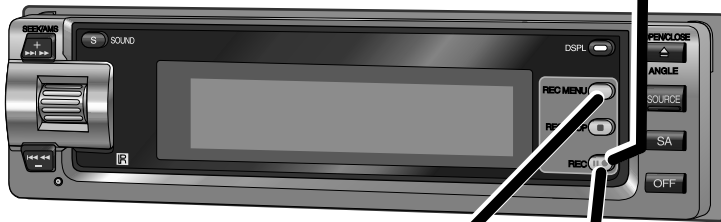
12ページをご覧ください。

2 録音したいCD/MDを再生する

22ページをご覧ください。

3 録音待機にする

ボタンがアンバーに点灯し、表示窓の「||」表示が点滅します。



4 Track、DiscまたはPGMを選ぶ

Track : 再生中の曲のみ録音する
Disc : CD/MDの曲すべてを録音する
PGM : 登録した好きな曲を録音する

「Track」を選択した場合、現在再生中の曲が曲の頭から録音されます。他の曲を録音したいときは、SEEK/AMSボタンを繰り返し押し曲を選びます。一度設定しておく、変更するまで同じ設定になります。

5 録音を開始する

ボタンが赤色に点灯し、表示窓の「●」表示が点滅します。再生中の曲 (Track)、CD/MD (Disc) または登録した曲 (PGM) の最初から録音を開始します。

録音が終わると自動的に録音待機になります (③に戻ります) が、CD/MDの再生は続きます。④でTrack、DiscまたはPGMを選ばずにMD RECボタンを押した場合は、再生中の音の録音を開始します。

録音をやめるには
REC STOPを押します。

ご注意

- 録音中および録音待機中は次のことができません。
 - 一曲を変える (録音中は不可)
 - MDを取り出す
 - 一名前の入力や編集
- 途中まで録音済みMDでは、未録音部分を探して録音されます。
- 録音済みのMDの内容を消すには44~46ページをご覧ください。
- 録音後は次のようなとき、必ず先にMDを取り出してください。
 - エンジン切る前
 - バッテリー端子やバックアップ電源を外すとき
- 録音用MDの録音可能時間がCD/MDの演奏時間より少ない場合は、録音可能時間のみ録音されます。
- 録音を終了したあと、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。
- ディスクと本機の温度差がある場合は録音されないことがあります。
- 振動の激しいところで録音すると音がとんで録音されることがあります。

ワイヤレスリモコンの操作

各種メニュー設定を行う操作は、ワイヤレスリモコンで行います。

安全のため、ワイヤレスリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。

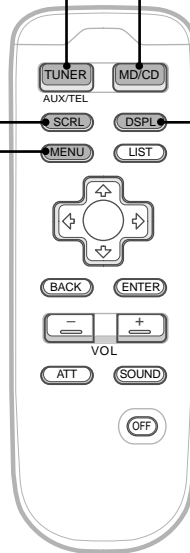
TUNERボタン
TUNER、TV/AUX*¹、TEL*²
を切り換えます。

MD/CDボタン
MD、CD*³を切り換えます。

SCRLボタン
MDまたはCDテキスト*³の長い名前を表示中に押すと、名前がスクロールします。

DSPLボタン
MDまたはCD*³を再生しているときにディスク名、曲名または時計の表示を切り換えます。
ラジオ、テレビ受信中は、放送局名または時計の表示を切り換えます。

MENUボタン
メニュー画面を表示します。



ご注意

本体のOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してある場合は、ワイヤレスリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってください。

- *¹ TVチューナーユニット(別売り)を接続したとき
- *² PDCハンズフリーユニット(別売り)を接続したとき
- *³ CD機器(別売り)を接続したとき

カーソルボタン

FM/AM/TV	↑、↓	プリセット局の選局
	←、→	自動選局*1 周波数変更*2
MD/CD	↑、↓	ディスクの選択 (チェンジャー接続時)
	←、→	曲の頭出し*1 早送り/早戻し*2
TEL	←、→	着信履歴、発信履歴

*1 短く押す

*2 2秒以上押す

LISTボタン

FM/AM/TV	プリセットの一覧
MD	ディスク名または曲名の一覧
CD	ディスク名または曲名の一覧

BACKボタン

メニュー操作中に一つ前の画面に戻すときに押します。

ATTボタン

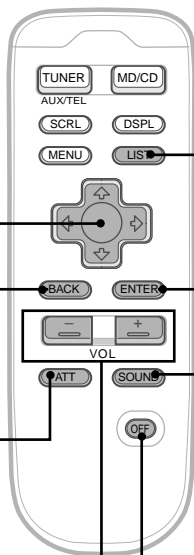
音量を瞬時に小さくします。もとの音量に戻すには、もう一度押します。

VOL +/- ボタン

+または- ボタンを押して本機や携帯電話の音量や音質を調整します。携帯電話に登録されている電話番号を選びます。

OFFボタン*

電源を切ります。



ENTERボタン

選択したメニュー項目を決定します。携帯電話の発信 / 着信をおこないます。

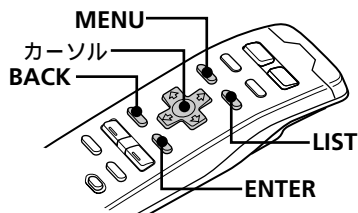
SOUNDボタン

サウンドの設定をします。押すごとに
EQ → Position → DSO →
Balance → Front → Rear →
Sub
と切り換わります。

* ACCポジションのないお車のときは、バッテリーあがりを防ぐために、本体のOFFボタンを2秒以上押し、時計表示を消してください。

メニュー画面 / リスト表示について

MENUボタンまたはLISTボタンを押すと次のようなメニューまたはリストが表示されます。



メニュー画面 (MENUボタンを押して表示)



- ① MENUボタンを押すと各種設定や調節を行う画面になります。
- ② カーソルボタンで設定項目と設定内容を選び、ENTERボタンを押して決定します。
- ③ MENUボタンまたはBACKボタンを押すと、メニュー画面を解除して通常画面に戻ります。

リスト画面 (LISTボタンを押して表示)



ちょっと一言

- 本体のジョグローラーを押してリスト画面を表示することもできます。
- ディスク名、曲名のついていないディスクの場合、「*****」と表示されます。

- MDを選び、LISTボタンを押すと曲名のリストが表示されます。
- FMまたはAMを選び、LISTボタンを押すとプリセット局のリストが表示されます。
- 別売のCD/MDチェンジャーを接続している場合は、CDまたはMDを選びLISTボタンを押すと、ディスク名のリストが表示されます。カーソルボタンでディスクを選びもう一度LISTボタンを押すと、曲名のリストが表示されます。

登録名でディスクまたはプリセット局を選ぶには

ディスク名のリストまたはプリセット局のリスト画面で、カーソルボタンを押して希望のディスクまたは放送局を選び、ENTERボタンを押します。

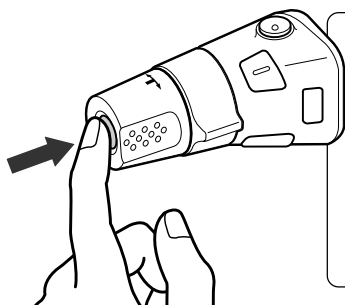
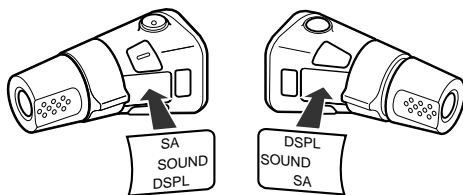
曲を選ぶときは、聞きたい曲にカーソルを動かすだけで曲が変わります。

選択した項目を変更しないでもとの画面に戻るには、LISTボタンまたはBACKボタンを押します。

ロータリーコマンドーの操作

ロータリーコマンドーのシールについて

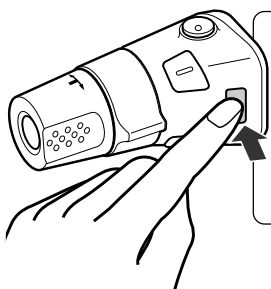
ボタン名称のシールが2枚付属されています。ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



SOURCEボタンを押すと

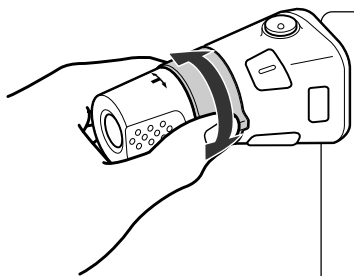
本機の電源が入り、繰り返し押しとソース(ユニット)が
TUNER(FM AM) CD*(CD1 CD2)
MD(MD1 MD2*) TV*(TV AUX)
TEL*(発信/着信)
と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



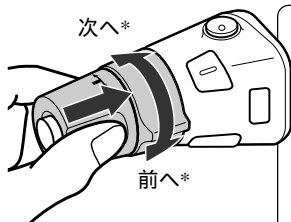
SOUNDボタンを押すと

押すたびに、
EQ Position DSO Balance Front Rear
Sub 通常画面
と切り換わり、音量調節・音質選択ができます。



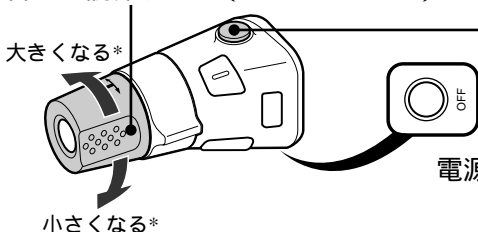
SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

FM/AM/TV...自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます
MD/CD 曲の頭出しをする
回し続けると早く送られ、離すと再生に戻ります
TEL 発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出せます



VOLつまみを押しながら回すと
FM/AM/TV... 登録した放送局を順に受信する
MD/CD ディスクを切り換える**
VOLつまみを押しして離すと
FM/AM/TV ... 登録した放送局の一覧を表示する
MD/CD トラック(曲名)のリストを表示する
ディスクのリストを表示する**
TEL 発信 / 着信をおこなう
表示画面は数秒後にもとに戻ります。

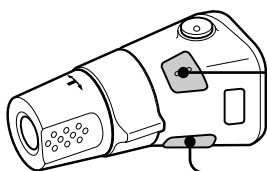
音量を調節する*** (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる(ATTボタンを押す)
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみ
で音量を上げます。

電源を切る (OFFボタンを押す)

- * 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。
- ** チェンジャ - 接続時のみ。
- *** TEL時は登録した電話番号を選択するつまみになります。

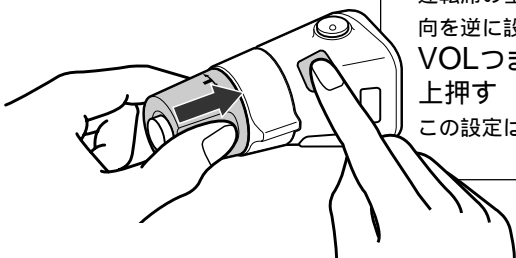


スペクトラムアナライザーを選択する
スペクトラムアナライザー (SAボタンを押す)

本体のSAボタンと同じ動きをします。

画面表示を変える (DSPLボタンを押す)
ディスプレイ
本体のDSPLボタンと同じ動きをします。

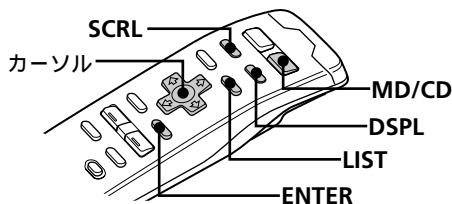
つまみの操作方向を切り換える



運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。
VOLつまみを押しながら、SAボタンを2秒以上押す
この設定は、本体でもできます (83~84ページ)。

MD/CDを聞く

本機または別売りのCD/MD機器を使って、MDやCDを再生できます。

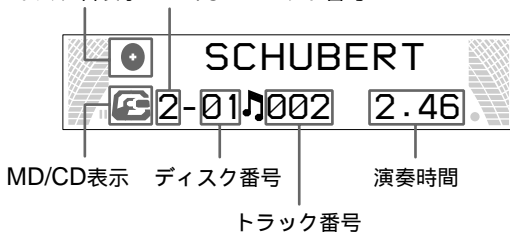


聞きたいソースとユニットを選ぶ

MD/CDボタンを繰り返し押し続けて、聞きたいソースとユニットを選ぶ。

自動的に再生が始まります。

ディスク名表示 MD/CDユニット番号



別売りのMDチェンジャーを接続した場合

MD1(本機) → MD2(MDチェンジャー1) → MD3(MDチェンジャー2)

別売りのCD機器を接続した場合

CD1(CD機器1) → CD2(CD機器2) → CD3(CD機器3)

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しきれないことがあります。
- 「*****」と表示されたときはディスク名のついていないディスクです。

ちよつと一言

本体のジョグローラーを押すとリスト画面になります。またジョグローラーを回してリストからディスクや曲を選ぶことができます。

聞きたいディスクを選ぶには

再生中に↑または↓を繰り返し押す。

次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

ディスク名から選ぶには

1 MD/CDボタンを繰り返し押して、「MD」または「CD」を選ぶ。

2 LISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



3 ←/↑または→/↓を押してディスクを選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

選んだディスクの1曲目から再生が始まります。

ディスク名の登録方法については、「ディスクに名前を付ける」(33ページ)をご覧ください。

聞きたい曲を選ぶには

再生中に←または→を繰り返し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中に←または→を押し続けて、聞きたいところで離します。

次のページへつづく

MD/CDを聞く(つづき)

ご注意

CDチェンジャーのディスクを曲名から選ぶことができるのはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。

ちょっと一言

CD/MDチェンジャー接続時は、LISTボタン1度押しでディスク名のリスト表示、2度押しで曲名のリスト表示となります。

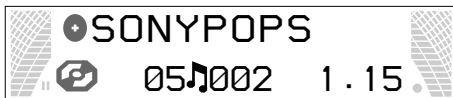
曲名から選ぶには

- 1 聞きたいディスクを再生する。
- 2 LISTボタンを押す。
曲名のリストが表示されます。
- 3 ←/↑または→/↓を押して曲を選ぶ。
選んだ曲の再生が始まります。
- 4 LISTまたはENTERボタンを押す。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押し表示を切り換えます。

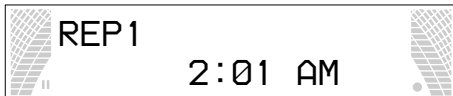
CDの再生の場合



ディスク名/アーティスト名*1*2
曲番号と再生経過時間



曲名*3(MDとCD TEXTのみ)
曲番号と再生経過時間



Play Mode*4/時計

ちょっと一言

「オートスクロールの設定」(36ページ)でONにしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。繰り返しスクロールさせたい場合はSCRLボタンを押します。

- *1 ディスク名がついていない時は「NO Disc Name」と一瞬表示された後、ブランク表示になります。
- *2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
- *3 曲名がついていないときは「NO Track Name」と一瞬表示された後、ブランク表示になります。
- *4 リピート、シャッフル、プログラムを設定してある時のみ表示されます。

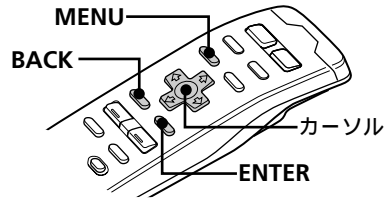
長い名前を見るには

MDまたはCD TEXTの再生中に、SCRLボタンを押します。

繰り返し聞く

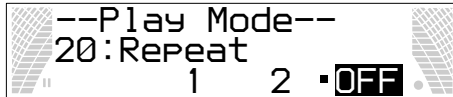
(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲、接続したCD/MDチェンジャー内の全ディスクを繰り返し聞くことができます。



1 MDまたはCDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Repeat」を選ぶ。



3 ←または→を押して聞きたい設定を選ぶ。

- 1曲のみ繰り返す 「Repeat: 1」にする。
- 再生しているディスクを繰り返す
..... 「Repeat: 2」*にする。

*CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

4 ENTERボタンを押す。

5 MENUボタンを押す。

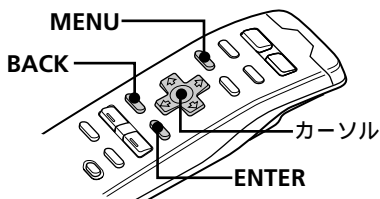
通常の画面が表示され、リピート演奏が始まります。

リピート再生をやめるには
手順3で「OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

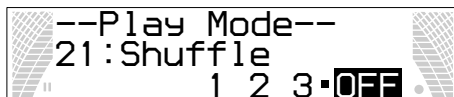


ちょっと一言

シャッフル再生中は、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

1 MDまたはCDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して、「Shuffle」を選ぶ。



3 ←または→を押して聞きたい設定を選ぶ。

- 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生するには 「Shuffle: 1」にする。
 - 再生しているチェンジャー内のディスクを順不同に再生するには 「Shuffle: 2*」にする。
 - 接続している2台以上のチェンジャー内のディスクを順不同に再生するには 「Shuffle: 3*」にする。
- * CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

4 ENTERボタンを押す。

5 MENUボタンを押す。

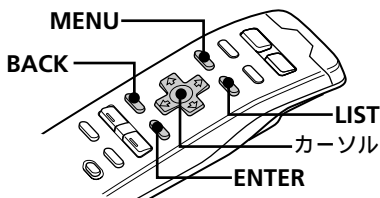
通常の画面が表示され、シャッフル演奏が始まります。

シャッフル再生をやめるには
手順3で「OFF」を選びます。

聞きたい曲を 好きな順に聞く

(プログラム再生)

ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しむことができます。プログラムで聞きたい順番に24曲まで登録できます。1度登録すると、ディスクを入れ換えても最初に指定した順番のまま再生されます。また、MDとCDの曲を組み合わせることでプログラムを作ることができます。

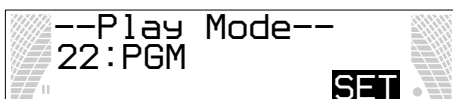


ちょっと一言

メニューの中で現在の表示をキャンセルして1つ前の表示にするにはBACKボタンを押します。

プログラムを登録する

- 1 MDまたはCDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「PGM」を選ぶ。
- 3 「SET」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。

「PGM entry」画面が表示されます。



ご注意

24のスロットすべてに登録すると「Memory Full」が表示され、それ以上登録することはできません。

5 プログラムする曲を選ぶ。

- ① MD/CDボタンを繰り返し押しして、本機またはCD/MDチェンジャーを選びます。
- ② LISTボタンを押してから↑または↓を押して、ディスクを選び、ENTERボタンを押します。(CD/MDチェンジャーを接続してCD/MDチェンジャーを選んだ場合)
- ③ ←または→を押してプログラムに登録する曲を選びます。
- ④ ENTERボタンを押します。

6 ↑または↓を押してスロット番号を選び、ENTERボタンを押す。



手順5と6を繰り返して曲を追加します。

7 最後に、MENUボタンを押す。

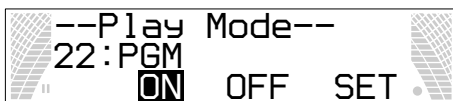
通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

聞きたい曲を好きな順に聞く(つづき)

登録したプログラムで再生する

- 1 MDまたはCDの再生中にMENUボタンを押す。
 - 2 ↑または↓を押して「PGM」を選ぶ。
 - 3 ←または→を押して「ON」を選ぶ。
-



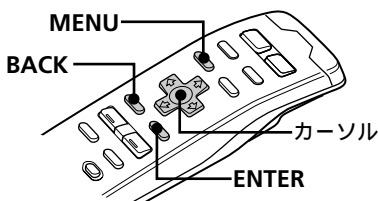
- 4 ENTERボタンを押す。
プログラム再生が始まります。
-

プログラム再生をやめるには
手順 3で「OFF」を選びます。

プログラムを 変える

(プログラム変更)

登録したオリジナルのプログラムに聞きたい曲
を追加登録することができます。



ちょっと一言

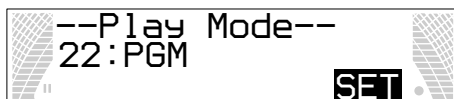
曲と曲の間に追加したい場
合は、追加したいスロット
で新たにENTERするとそ
れ以降の曲が後ろに移動し
ます。

プログラムに曲を追加する

「プログラムを登録する」(28~29ページ)と同じ操作で追加
することができます。

プログラムに登録した曲を消去する

- 1 登録したプログラムを再生し、MENUボタンを
押す。
- 2 ↑または↓を押して「PGM」を選ぶ。
- 3 ←または→を押して「SET」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。
- 5 消去する曲を↑または↓で選ぶ。



[次のページへつづく](#)

プログラムを変える(つづき)

ちょっと一言

登録したプログラムが全て消去されると、「NO Data」と表示されます。

6 ENTERボタンを2秒押す。

スロット番号から曲を消去すると、それ以後の曲が繰り上がります。

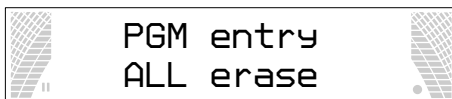
他の曲の消去をするには、手順5と6を繰り返してください。

7 MENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

プログラムごと消去する

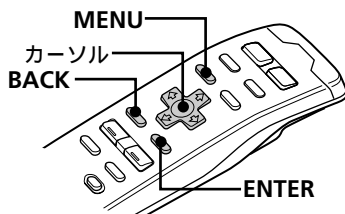
「プログラムに登録した曲を消去する」の手順5で「ALL erase」を選び、ENTERボタンを2秒以上押しします。



「NO Data」が表示され、プログラムが消去されます。

ディスクに名前をつける

(ディスクメモ/カスタムファイル)



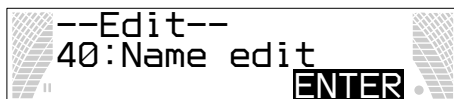
別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。CD110枚分の名前を保存できます。MDについては「ディスク名や曲名をつける」(52~54ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。
- ↑を押すごとに
A → B → C → ... Z →
0 → 1 → 2 → ... 9 → +
→ - → * → / → \ →
→ → . → _
と変わります。↓を押すと、逆順に表示されます。
- 文字をあげたいときは、「_」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、←を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

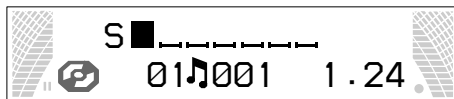
1 CDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Name edit」を選び
ENTERボタンを押す。



3 ↑または↓を押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。

本体で操作するときはジョグローラーを回して文字を選び、ジョグローラーを押して文字を移動させます。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

4 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったら
ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。



次のページへつづく

ディスクに名前をつける(つづき)

ご注意

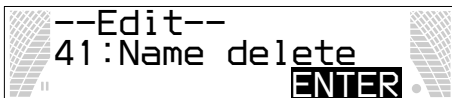
- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が登録された順に表示されます。最後に入力した名前が最後に表示されません。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(33ページ)の手順3で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

- 1 CDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Name delete」を選び、ENTERボタンを押す。



- 3 ↑または↓を押して消去するディスクの名前を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを2秒以上押す。
選択したディスクの名前が消去されます。
ほかのディスクの名前を消すときは手順3～4を繰り返します。

- 5 MENUボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

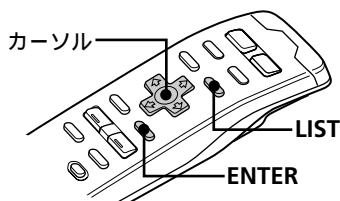
ディスクを名前で探す

(リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのMDチェンジャーを接続した場合
- 別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続した場合

CDについてはディスクメモ機能(33ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ご注意

ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
- 「*****」: 名前がついていない。
- 「?」: ディスク情報を読み込んでいない。

ちょっと一言

曲名のリスト表示のときは、カーソル移動で、AMSの働きになります。

1 再生中にLISTボタンを押す*。

ディスク名のリストが表示されます。



2 ↑または↓を押してディスクを選ぶ。

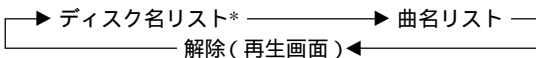
3 ENTERボタンを押す。

そのディスクの1曲目から再生が始まります。

曲名のリスト

再生中にLISTボタンを繰り返し押す。

LISTボタンを押すたびに表示は次のように切り換わります。

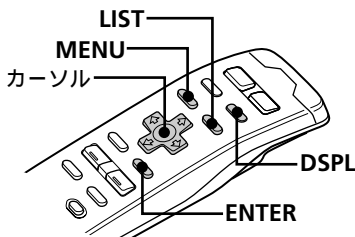


* CD/MDチェンジャーが接続されている場合のみ

曲名リストにはCD TEXTのディスクやMDで設定した曲名が表示されます。本機はCDに曲名を登録することはできないため、CD TEXT対応ではないCDを再生すると、曲名リストには「*****」が表示されます。

CD TEXTを見る

CD TEXT対応のCDチェンジャー/CDプレーヤーを接続してCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

ご注意

CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字数を表示しきれないことがあります。

ディスク名表示を換えるには

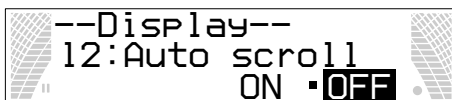
ディスクメモ機能(33ページ)で名前を登録したCD TEXTディスクを再生している場合は、ディスクメモ名が表示されます。

オートスクロールの設定

MDまたはCD TEXT対応のCDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったときにディスク名、曲名およびアーティスト名が自動的に表示されます。この設定を「ON」にするとディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「AutoScroll」を選ぶ。



3 ←または→を押して「ON」を選び、ENTERボタンを押す。

4 MENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには
手順3で「OFF」を選びます。

CD TEXT対応ディスクを再生すると

DSPLボタンを押すたびに

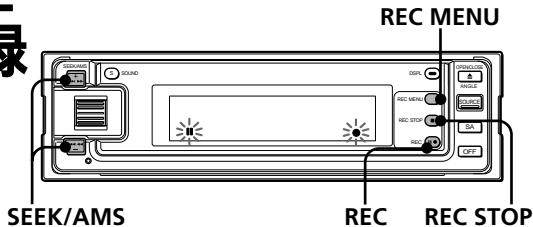
▶ ディスク名 / アーティスト名* → 曲名 → 時計

と切り換わります。

* アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。またアーティスト名の記録されていないディスクもあります。

CD/MDの再生 中の曲だけを録音する

(トラック録音)



再生中の曲だけを、自動的にその曲の頭から録音できます。

ご注意

- 録音を終えたあとMD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。
- モノラル録音はできません。
- 録音中および録音待機中に本機のOFFボタンやCDプレーヤーCSX-G44(別売り)の▲ボタン、CDチェンジャー(別売り)のマガジン取り出しボタン、MDチェンジャー(別売り)のSTOPボタンを押すとその状態が解除され、電源が切れます。

ちょっと一言

- 録音済みMDでは未録音部分を探して録音されます。
- 録音済みのMDの内容を消すには、44～46ページをご覧ください。

* 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスク

- 録音用MDを本機に入れる(12ページ)
- 録音したいCD*またはMD*を再生する。
- 本体のRECボタンを押す。

録音残量時間



録音残量時間が表示されます。

「II」が点滅して、録音待機状態になります。

- REC MENUボタンを繰り返し押し、「Track REC」を選ぶ。



- SEEK/AMSボタンを押して録音したい曲を選ぶ。

CDプレーヤー CSX-G44で再生している場合は、録音したい曲のトータル時間が表示されます。

ちょっと一言

CDプレーヤー CSX-G44
で再生中のCDをトラック
録音している時は、DSPL
ボタンを押すごとに再生中
の曲の経過時間→再生中の
曲の残時間と切り換わります。

* 別売りのCD/MDチェン
ジャーを接続した場合

ちょっと一言

「No Disc」表示中(約10秒
間)に挿入してください。
表示が消え、通常の画面に
もどると、録音待機状態は
無効になります。

6 もう一度RECボタンを押す。

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。



「●」が点滅して、録音が始まります。

録音を終えるとMD(本機)は自動的に録音待機状態
になります(手順3に戻ります)が、CD*またはMD*の再
生は続きます。

録音待機状態を解除するには
REC STOPボタンを押します。

録音用MDをあとから入れて録音する

1 録音するCD*を再生して、RECボタンを押す。

「No Disc」と表示され、MD挿入待機状態になり
ます。

2 録音用MDを10秒以内に挿入する。

録音したいソースが切り換わることなく、録音待機状態
になります。

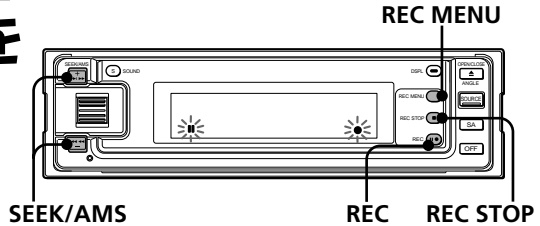
3 REC MENUボタンを繰り返し押し、「Track REC」を選ぶ。

4 RECボタンを押す。

録音が始まります。

CD/MDの再生中のディスクを録音する

(ディスク録音)



再生中のディスクの曲すべてを録音することができます。

ご注意

- 録音を終えたあとMD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。
- 録音用のMDの録音可能残量時間が再生しているディスクのトータル時間より少ない場合、録音残量時間分のみ録音されます。
- 録音中および録音待機中に本機のOFFボタンやCDプレーヤー-CSX-G44(別売り)の▲ボタン、CDチェンジャー(別売り)のマガジン取り出しボタン、MDチェンジャー(別売り)のSTOPボタンを押すとその状態が解除され、電源が切れます。

ちょっと一言

- 録音済みMDでは未録音部分を探して録音されます。
- 録音済みのMDの内容を消すには、44~46ページをご覧ください。
- 録音するMDが入っていても先にCDを再生させて、RECボタンを押してからMDを入れると手順3の状態になります(39ページ)。
- CDプレーヤー CSX-G44で再生中のCDをディスク録音している時は、DSPLボタンを押すごとに再生中の経過時間→再生中の曲の残時間→再生中のディスクの残時間と切り換わります。

* 別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合

1 録音用MDを本機に入れる(12ページ)

2 録音したいCD*またはMD*を再生する。

3 本体のRECボタンを押す。

録音残量時間が表示されます。

「||」が点滅して、録音待機状態になります。

4 REC MENUボタンを繰り返し押し、「Disc REC」を選ぶ。

CDプレーヤー CSX-G44で再生している場合は、録音トータル時間が表示されます。



CD/MDチェンジャー接続時、チェンジャー内の他のディスクを録音するときは、↑または↓を押してディスクを選びます。

5 もう一度RECボタンを押す。

「●」が点滅し、再生中のディスクの1曲目に戻って録音が始まります。

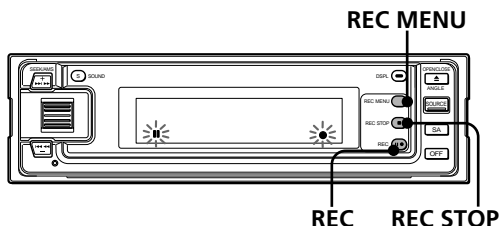


録音が終わるとMD(本機)は自動的に録音待機状態になります(手順3に戻ります)が、CD*またはMD*の再生は続きます。

録音待機状態を解除するには
REC STOPボタンを押します。

CD/MDから好きな曲を選んで録音する

(プログラム録音)



プログラム機能(28~29ページ)で登録した好きな曲を好きな順番で録音できます。

ご注意

- 録音を終えたあとMD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。
- 録音用MDの録音可能残量時間が再生しているディスクのトータル時間より少ない場合は、録音残量時間分のみ録音されます。
- 別売りのCDプレーヤーCSX-G44だけでプログラム再生する場合は、録音トータル時間を表示することができます。
- プログラム登録されているCD/MDが1曲も準備されていないときは、「*Not Ready*」と表示されます。
- 録音中および録音待機中に本機のOFFボタンやCDプレーヤーCSX-G44(別売り)の▲ボタン、CDチェンジャー(別売り)のマガジン取り出しボタン、MDチェンジャー(別売り)のSTOPボタンを押すとその状態が解除され、電源が切れます。

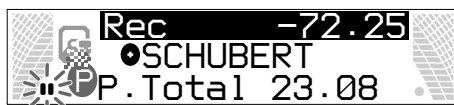
ちょっと一言

- 録音するMDが入ってなくても先にCDを再生させて、RECボタンを押してからMDを入れると手順3の状態になります(39ページ)。
- 録音済みMDでは未録音部分を探して録音されます。
- 録音済みのMDの内容を消すには、44~46ページをご覧ください。

* 別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合

- 録音用MDを本機に入れる(12ページ)。
- 登録したプログラムを再生する(30ページ)。
- 本体のRECボタンを押す。

録音残量時間と録音トータル時間が表示されます。



「||」が点滅して録音待機状態になります。

- REC MENUボタンを繰り返し押し、「PGM REC」を選ぶ。

CDプレーヤーCSX-G44だけでプログラム再生している場合は、録音トータル時間が表示されます。



- もう一度RECボタンを押す。

「●」が点滅し、プログラムの1曲目に戻って録音が始まります。

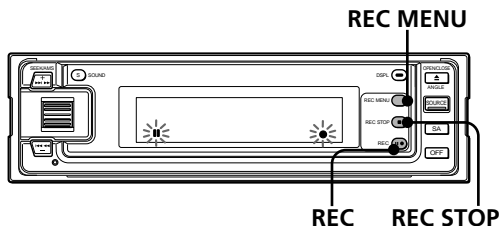
録音が終わるとMD(本機)は自動的に録音待機状態になります(手順3に戻ります)が、CD*またはMD*の再生は続きます。

録音待機状態を解除するには
REC STOPボタンを押します。

ラジオ放送を録音する

(エアチェック録音)

好きなところで録音を始めたりやめることができます。また録音を一時停止することもできます。



ご注意

- 曲番(頭出しマーク)は、録音を一時停止したところでも自動的に付きます。
- 録音を終えたあとMD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。
- 録音中は放送局を変えることはできません。録音を一時停止して変えてください。

ちょっと一言

- 録音するMDが入っていなくても先に放送局を受信して、RECボタンを押してからMDを入れると手順3の状態になります(39ページ)。
- 録音済みMDでは未録音部分を探して録音されます。
- 録音済みのMDの内容を消すには、44~46ページをご覧ください。

ラジオを録音する

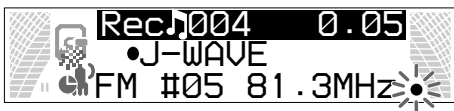
- 1 録音用MDを本機に入れる(12ページ)
- 2 録音したい放送局を受信する(13ページ)
- 3 本体のRECボタンを押す。
「||」が点滅して、録音待機状態になります。
- 4 REC MENUボタンを繰り返し押し、「Time Machine REC」を選ぶ。



録音開始が遅れても最大10秒前までの放送を録音することができます。一度設定しておくとも変更するまで同じモードになります。

Time Machine RECをもう一度押すと通常の録音モードになり録音開始時点から録音できます。

- 5 録音したいところでもう一度RECボタンを押す。



「●」が点滅して、録音が始まります。

ご注意

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続時、携帯電話の会話を録音する場合は、通話相手の声のみ録音されます。

録音を一時停止するには
RECボタンを押します。
「■」が点滅になります。
もう一度押すと録音が始まります。

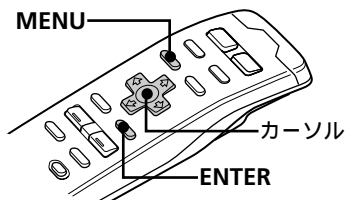
録音をやめるには
REC STOPボタンを押します。

テレビ、ビデオ、携帯電話を録音する
ラジオと同様に別売りのテレビ、ビデオ、携帯電話の音声も録音できます。

ソースの選びかたは、「別売りのテレビを見る」(63ページ)、「別売りのビデオを見る」(65ページ)または「電話をかける」(67～68ページ)をご覧ください。

曲を消す (イレース機能)

録音した曲を瞬時に消したり、曲の中の不要な部分だけを消すことができます。また、カセットテープのように消した部分が無音のまま残ることもありません。また、曲を消す方法には「1曲ずつ消す」、「MDの内容をすべて消す」、「曲中の一部分を消す」の3種類があります。



運転中は名前入力など、MD編集を行わないでください。

ご注意

- いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。
- 曲を消すと、次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。
- 「Protected」が表示されたら、そのディスクは誤消去防止状態になっています。(6ページ)
- 編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

1曲ずつ消す

1 編集したいMDを再生してMENUボタンを押す。

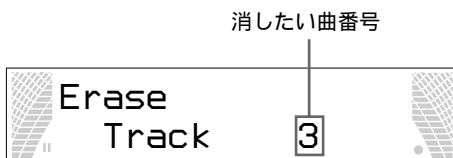
2 ↑または↓を押して「Erase」を選ぶ。



3 ←または→を押して「Track」を選び、ENTERボタンを押す。

4 カーソルで消したい曲番号を選び、ENTERボタンを押す。

1曲リピート再生になります。



ご注意

「Complete!」表示のあとしばらく音が出なくなりますが故障ではありません。

ちょっと一言

中止するときは、「NO」を選びます。

ご注意

- いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。
- 編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

ちょっと一言

- 中止するときは、「NO」を選びます。
- 「Blank」になると次のソースに自動的に切り換わります。また次にソース切り換えを繰り返したときにMDチェンジャーが接続されている場合は、MD1は選択されなくなります。

5 ←を押して「YES」を選び、ENTERボタンを押す。



「Compelte!」が数秒間表示され、再生中の曲が消されたあと手順4の表示に戻ります。

続けて曲を消すときは手順4~5を繰り返します。

6 MENUボタンを押す。

MDの内容をすべて消す

一度に、MDの中の全曲と全曲名、ディスク名を消すことができます。消したあとは新しいIMDと同じように使えます。

1 消去したいIMDを再生してMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Erase」を選ぶ。

3 ←または→を押して「Disc」を選び、ENTERボタンを押す。

4 ←を押して「YES」を選び、ENTERボタンを押す。



「Complete!」が数秒間表示され、入れてあるMDの内容がすべて消えます。

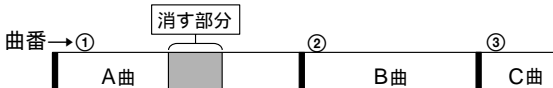
[次のページへつづく](#)

曲を消す(つづき)

曲中の一部分を消す

「曲を分ける」(47~48ページ)、「曲を消す」(44~46ページ)、「曲をつなぐ」(49ページ)の3つの機能を組み合わせて使い、1曲中の一部分だけを消すことができます。

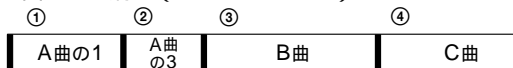
例)A曲の一部分を消します。



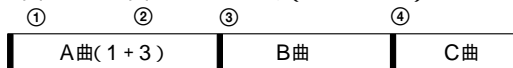
1 A曲を分ける(47~48ページ)



2 A曲の2を消す(44~46ページ)



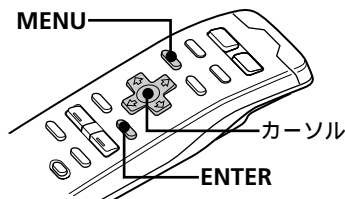
3 A曲の1とA曲の3をつなぐ(49ページ)



曲を分ける

(ディバイド機能)

ラジオなどの録音では、最適なところに曲番が付かないことがあります。このため、1つの曲番のなかに複数の曲が入ることがあります。これをいくつかの曲に分け、それぞれに頭出しのための曲番を付けることができます。分けた曲以降の曲には自動的に連続した曲番が付きます。



運転中は名前入力など、MD編集を行わないでください。

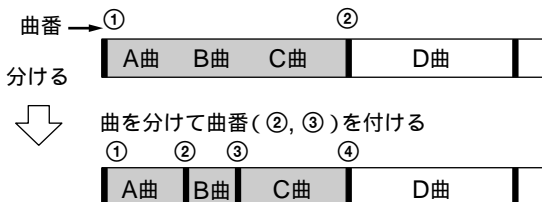
ちょっと一言

一度分けた曲を元に戻すには「曲をつなぐ」(49ページ)をご覧ください。

ご注意

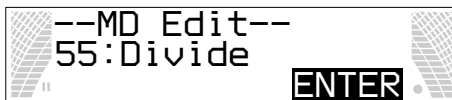
- 分ける前に付いていた曲名は、前の曲だけに付き、後の曲には曲名が付きません。
- 「*Impossible*」が表示されたらその曲を分けることはできません。MDは何度も編集を繰り返すと分けられなくなることがあります。これは、MDのシステム上の制約で、故障ではありません。
- 編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

例) 1つの曲番(①)にA、B、Cの3曲が入っているとき



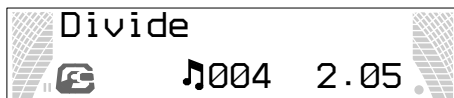
1 分けたい曲を再生してMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Divide」を選びENTERボタンを押す。



再生中の曲のリピート再生になります。

3 ←または→を押し続けて、分けたい部分でENTERボタンを押す。



[次のページへつづく](#)

曲を分ける(つづき)

ちょっと一言

分けたい部分を変えたい場合はBACKボタンで手順3に戻り、設定し直します。

4 ←または→を押して分ける部分を微調整する。



5 ENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、曲が分かります。そのあと3曲目を再生して、手順3の表示に戻ります。

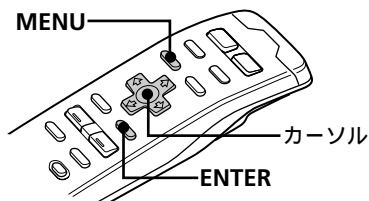
続けて曲を分けたいときは手順3~5を繰り返します。

6 MENUボタンを押す。

曲をつなぐ

(コンバイン機能)

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめることができます。何度も停止してコマ切れで録音したものを1つにまとめたり、不要な曲番を取ったりするときにお使いください。つないだ曲以降の曲には、自動的に連続した曲番が付きます。



運転中は名前入力など、MD編集を行わないでください。

ご注意

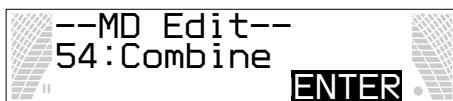
- つないだ2曲両方に曲名が付いている場合は後の曲名が消えます。
- 「*Impossible*」が表示されたら、その2曲はつなぐことができません。MDは何度も編集を繰り返すと、つなげなくなることがあります。これはMDのシステム上の制約(89ページ)で、故障ではありません。
- 編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

例) B曲とC曲をつなぐ

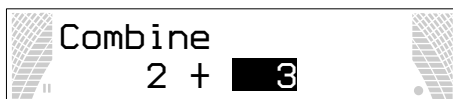


1 つなぎたい曲の入っているディスクを再生してMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Combine」を選び、ENTERボタンを押す。



3 ←または→でつなぎたい2曲を選び、ENTERボタンを押す。



「Complete!」が数秒間表示され、曲がつながったあと手順3の表示に戻ります。

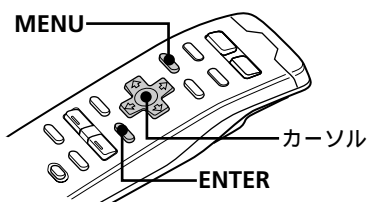
続けて曲をつなげるときは、手順3を繰り返します。

4 MENUボタンを押す。

曲を移動する

(ムーブ機能)

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。



運転中は名前入力など、MD編集を行わないでください。

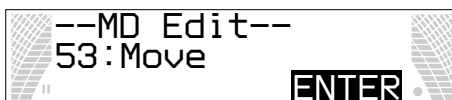
ご注意

編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

例) C曲を1曲目に移動する

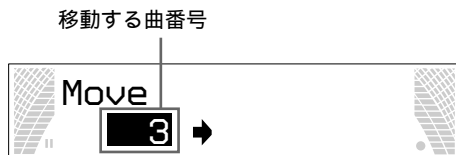


- 1 移動させたい曲を再生してMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Move」を選び、ENTERボタンを押す。



1曲リピート再生になります。

- 3 ←または→で移動したい曲番を選び、ENTERを押す。



-
- 4 ←または→で移動先の曲番を選び、ENTERボタンを押す。



移動先の曲番号

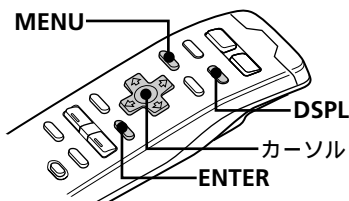
「3 → 1」に表示が変わります。

「Complete!」が数秒間表示され、曲が移動されたあと手順3の表示に戻ります。続けて曲を移動するときは、手順3～4を繰り返します。

-
- 5 MENUボタンを押す。
-

ディスク名や曲名をつける (ネーム機能)

録音後に、ディスク名や曲名を記録することができます。1枚のMDにはアルファベット/数字/記号で最大約1700文字、カタカナ文字のみで最大約800文字まで入力できます。



運転中は名前入力など、MD編集を行わないでください。

入力できる文字

- アルファベット
ABCDE...wxyz
- 数字・記号
0123456789! " # \$ % & ' ()
* + , - / : ; < = > ? @ _ `
- カタカナ
アイウエオ...ヤユヨツ °

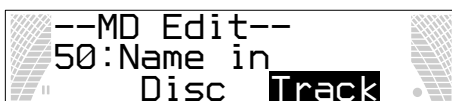
ちょっと一言

- DSPLボタンを押すごとに A → a → 0 → ア と切り換わります。すでにディスク名や曲名が記録されているMDのときは、文字入力時のディスク名や曲名が表示されます。必要があれば手順5にしたがって名前を変更してください。
- 名前をつけている間はリピート再生になります。曲名のとき：
その曲のリピート
ディスク名のとき：
ディスクリピート

名前を付ける

曲名を付ける

- 1 名前をつけたい曲の入っているMDを再生してMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Name in」を選ぶ。
- 3 ←または→を押して「Track」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 ←または→で名前をつけたい曲を選び、ENTERボタンを押す。



名前を付ける曲番号

- 5 ↑または↓を押して文字を選び、→を押して次の文字へ移動させる。



- 6 手順5を繰り返して文字を入力する。

ご注意

編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

-
- 7** 名前を付け終わったらENTERボタンを押す。
曲名が記録されます。

「Complete!」が数秒間表示され、手順4に戻ります。

- 8** MENUボタンを押す。
-

名前を変更するには

手順5で変更したいディスク名または曲名を表示させます。
変更したい名前の上から新しい名前を入力し、ENTERボタンを押します。

ディスク名をつける

-
- 1** 「曲名をつける」の手順1~2の操作を行う。
-

- 2** ←または→を押して「Disc」を選び、ENTERボタンを押す。
-

- 3** 「曲名をつける」の手順5~7を行う。

「Complete!」が数秒間表示されたあと、通常の表示に戻ります。

名前を消すには

曲名を消す

-
- 1** 名前を消したい曲の入っているMDを再生して、MENUボタンを押す。
-

- 2** ↑または↓を押して「Name erase」を選ぶ。
-

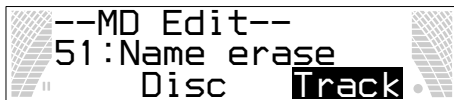
[次のページへつづく](#)

ディスク名や曲名をつける(つづき)

ご注意

編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

- 3 ←または→を押して「Track」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 カーソルで名前を消したい曲を選び、ENTERボタンを押す。



名前を消す曲番号

- 5 ←を押して「YES」を選び、ENTERボタンを押す。



「Complete!」が数秒間表示され、名前が消去されます。続けて他の曲の名前を消すときは手順4~5を繰り返します。

- 6 MENUボタンを押す。

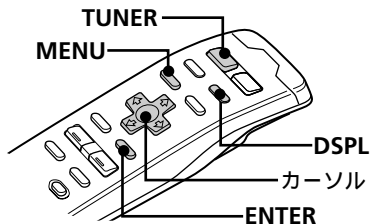
ディスク名を消す

- 1 「曲名を消す」の手順1~2の操作を行う。
- 2 ←または→を押して「Disc」を選び、ENTERボタンを押す。
「D. Name Erase?」と表示されます。
- 3 ←を押して「YES」を選び、ENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、名前が消去されたあと、通常の表示に戻ります。

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を自動的に登録します。
FM(TV1~3チャンネル)またはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。

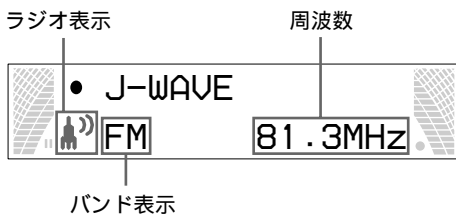


ちょっと一言

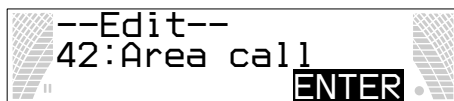
エリアコールとは、地域別にあらかじめ登録されている放送局のことです。地域を指定するだけで受信できる放送局が一度にプリセットチャンネルに登録されます(97ページ)。

エリアコールを設定する

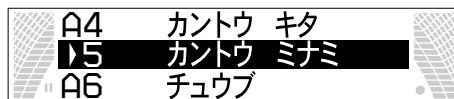
- 1 TUNERボタンを繰り返し押し、「FM」または「AM」を受信する。



- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「Area call」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。



- 5 カーソルを押してエリアを選び、ENTERボタンを押す。

「センキョクチュウ」が表示されて設定されます。

次のページへつづく

放送局を自動で登録する(つづき)

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

ちょっと一言

放送局の名前の登録のしかたについてくわしくは、61ページをご覧ください。

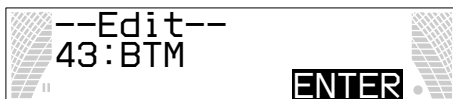
ちょっと一言

本体のジョグローラーで放送局を選ぶときは、選択と同時に受信周波数も変わります。

受信状態の良い放送局を登録する

1 ラジオ受信中、MENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「BTM」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。

「B.T.M.」(ベストチューニングメモリー)が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

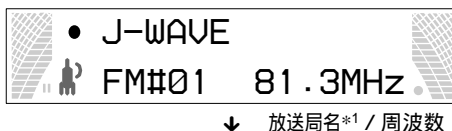
登録が終了と通常の表示に戻ります。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に↑または↓を押して聞きたい放送局を選ぶ。

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して表示を切り換えます。



*1 名前を登録されている場合。

*2 モノラルを設定してある時のみ表示されます。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

←または→を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで←または→を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中、MENUボタンを押し、↑または↓で「21: Local」を表示させる。
 - 2 ←または→で「ON」を選び、ENTERボタンを押す。MENUボタンを押すと通常画面に戻ります。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「OFF」を選びます。

AM放送を受信しないとき

本機のSOURCEボタンや、ワイヤレスリモコンのTUNERボタンからAM放送のバンドをはぶく設定ができます。

- 1 MENUボタンを押し、↑または↓で「01: AM Skip」を表示させる。
- 2 ←または→で「ON」を選び、ENTERボタンを押す。MENUボタンを押すと通常画面に戻ります。

AM放送を受信可能にするには

手順2で「OFF」を選びます。

[次のページへつづく](#)

放送局を自動で登録する(つづき)

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押し、**↑**または**↓**で「20: Mono」を表示させる。
- 2 **←**または**→**で「ON」を選び、ENTERボタンを押し、MENUボタンを押すと通常画面に戻ります。

ふつうの受信に戻すには
手順2で「OFF」を選びます。

FMダイバーシティアンテナで受信するときは

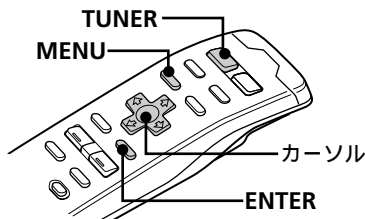
本機にFMアンテナ2本(ダイバーシティシステム)を接続しているときは「ON」に設定します。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押し。
- 2 **↑**または**↓**を押して「22: Diver」を選ぶ。
- 3 **←**または**→**を押して「ON」を選び、ENTERボタンを押し。
- 4 MENUボタンを押し。

ふつうの受信に戻すには
手順3で「OFF」を選びます。

特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(55ページ)したあと、空いているプリセットチャンネルに他の放送局を追加登録できます。



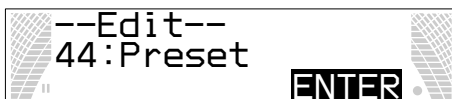
ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

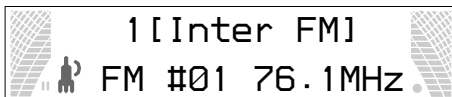
ちょっと一言

「FM」および「AM」のそれぞれに10局ずつ設定できます。

- 1 TUNERボタンを繰り返し押し、「FM」または「AM」を受信する。
- 2 ←または→を押し続けて、登録する局の周波数が表示されたところで離す。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ↑または↓を押して「Preset」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。



- 6 ↑または↓を押して、放送局を登録する番号を選んでENTERボタンを押す。

「Memory」と数秒間表示され、登録されます。

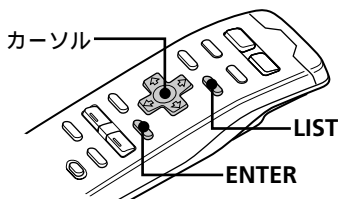
- 7 MENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

放送局を名前 探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、61ページをご覧ください。



ちょっと一言

選択をキャンセルするには
LISTボタンを押します。

1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2 カーソルを押して放送局を選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

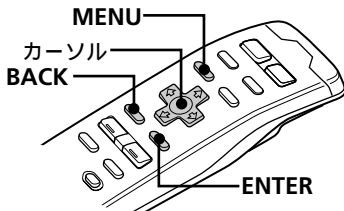
ロータリーコマンドで放送局を選ぶには
VOLつまみを押し離すと放送局名のリストが表示されま
す。

VOLつまみを押しながら回すとリストの中の放送局名を選択
できます。操作後は元の画面に戻ります。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



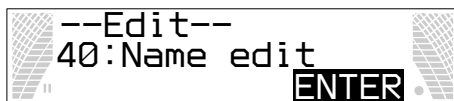
ちょっと一言

- 現在の表示をキャンセルして前の表示にするにはBACKボタンを押します。
- ↑を押すごとに
A → B → C → ...Z →
0 → 1 → 2 → ...9 →
+ → - → * → / →
\ → → → → →
と変わります。↓を押すと、逆順に表示されます。
- 文字を空けたいときは、「_」(下線)を入力します。

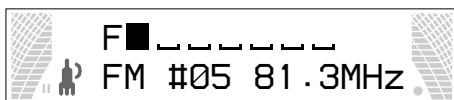
1 名前をつけたい放送局を受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を押して「Name edit」を選び、ENTERボタンを押す。

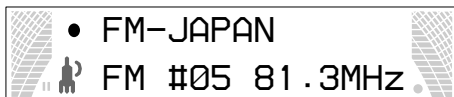


4 ↑または↓を押して挿入する文字を選び、→を押す。



5 手順4を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。



次のページへつづく

放送局に名前をつける(つづき)

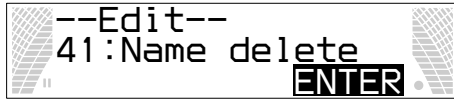
ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」(61ページ)の手順4で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。
- エリアコールに登録されている局名は消去できません。

放送局の名前を消去する

1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Name delete」を選び、ENTERボタンを押す。



3 ↑または↓を押して消去する放送局名を選ぶ。



4 ENTERボタンを2秒以上押す。

選択した放送局名が消去されます。

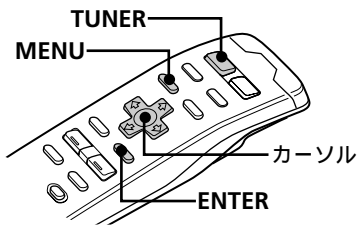
その他の放送局名を消去するには、手順3~4を繰り返します。

5 MENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

別売りのテレビを見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナー付きDVDナビゲーションシステムを接続してください。



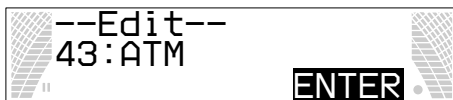
ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 最大10局まで登録できます。

* 表示はTVモニターの種類により異なります。

チャンネルを登録する

- 1 TUNERボタンを繰り返し押し、「TV」にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「ATM」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。

「Auto Memory」が数秒間点灯表示され、受信状態の良い放送局が周波数順に登録されます。

TVモニターには「選局中」*などと表示されます。

登録が終了と通常の表示に戻ります。

次のページへつづく

別売りのテレビを見る(つづき)

ちょっと一言

受信中のテレビの音声をMDに録音することができます。詳しくは、「ラジオ放送を録音する」(42~43ページ)をご覧ください。

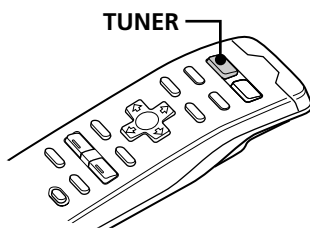
操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	↑または↓を押します。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(58ページ)の操作をする。
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none">1 TV受信中にMENUボタンを押す。2 ↑または↓を押して「20: Bilingual」を選ぶ。3 ←または→を押して「Sub」を選び、ENTERボタンを押す。4 MENUボタンを押す。 通常の声に戻すには手順3で「Main」を選びます。
特定のチャンネルを登録するには	<ol style="list-style-type: none">1 TUNERボタンを繰り返し押しして「TV」にする。2 「特定の放送局を登録する」(59ページ)の手順2~7の操作をする。
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(61ページ)の操作をする(手順1で、「TV」を受信する)。

別売りのビデオを見る

ビデオを見るには、別売りのビデオデッキおよびTVチューナー付きDVDナビゲーションシステムを接続してください。

接続のときには、ビデオデッキとTVチューナーの取扱説明書をご覧ください。



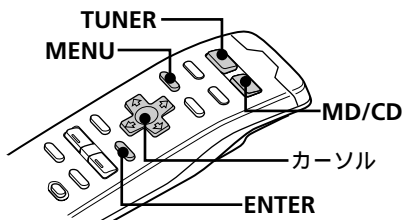
ちょっと一言

ビデオの音声をMDに録音することができます。詳しくは、「ラジオ放送を録音する」(42~43ページ)をご覧ください。

- 1 TUNERボタンを繰り返し押して、「AUX VIDEO」を選ぶ。
- 2 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

映像を見ながら ディスクを聞く

(サイマルプレイ)



ご注意

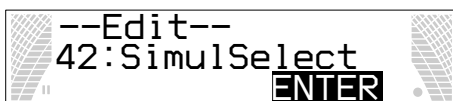
- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

ちょっと一言

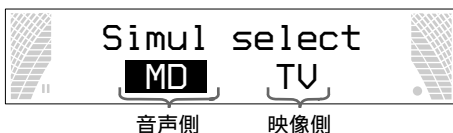
サイマルプレイ中、「AUX VIDEO」表示は「V1」となります。

1 TV受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「SimulSelect」を選び、ENTERボタンを押す。



3 ←または→を押して音声または映像を選ぶ。



4 音声側のソースを選ぶときは、MD/CDボタンを押して「MD」または「CD」を選ぶ。

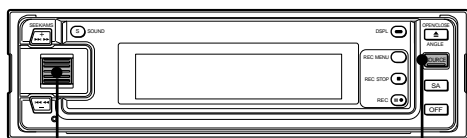
5 映像側のソースを選ぶときは、TUNERボタンを繰り返し押して、「TV」表示にする。

6 MENUボタンを押す。
サイマルプレイが始まります。

サイマルプレイをやめるには
テレビまたはビデオを止めるには
手順5で本体のSOURCEボタンを押して「- -」を選びます。
CDまたはMDを止めるには
手順4で本体のSOURCEボタンを押して「- -」を選びます。

電話をかける

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手持たずに通話することができます。相手の音声がカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声がサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。



ジョグローラー

SOURCE

ご注意

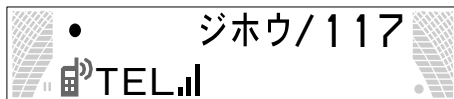
- 携帯電話に登録されている名前は、アルファベットとカタカナ、数字のみ表示できます。また、小文字や記号は大文字に変換されたり、表示できない場合があります。
- 電話側の登録可能件数に関わらず、本機では、携帯電話のプリセット番号000～299(001～300)に登録されているメモリのみを表示します。
- 携帯電話に300件全て登録されている場合は、アダプター接続後、全てを表示するのに、最大5分ほどかかります。
- 本機に表示される電波の強さは、携帯電話の表示とは一致しません。
- 次の表示の場合、電話がかげられません。
 - 「ケンガイ」:
圏外するとき
 - 「ハッシンフノウ」:
発信不能のとき
 - 「No Phone」:
電話が接続されていない

ちょっと一言

- ワイヤレスリモコンで操作する場合は、TUNERボタンで「TEL」を選び、VOL + / - ボタンで相手先を検索してください。ENTERボタンを押すと発信されます。
- 通話中、相手の声をMDに録音することができます。詳しくは、「ラジオ放送を録音する」(42～43ページ)をご覧ください。

1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。

2 ジョグローラーを回して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。

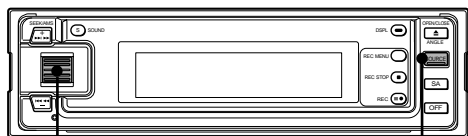


発信/着信履歴にある番号にかけるには

←または→を押して履歴にある番号を探す。発信/着信履歴の表示のしかたについては69ページをご覧ください。

3 ジョグローラーを押して、発信する。

電話を受ける



ジョグローラー

SOURCE

ご注意

録音中は自動的に「TEL」に切り換わりません。
また、着信音もなりません。

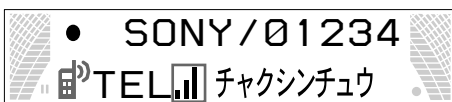
ちょっと一言

ワイヤレスリモコンのENTERボタン、ロータリーコマンドのVOLつまみでも電話を受けることができます。

ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

- 1 スピーカーと本体から着信音となり、自動的に「TEL」に切り変わる。



電波の強さ(3段階)

電話機の設定により相手の名前と電話番号を表示します。

- 2 ジョグローラーボタンを押す。

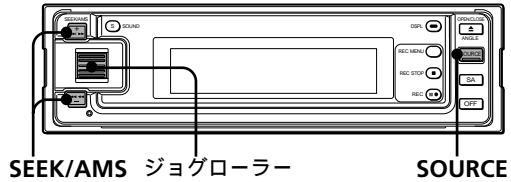


通話時間

電話がつながると、通話時間が表示されます。

電話を受けずに元のソースに戻るには
手順1の次にSOURCEボタンを押します。

その他の操作



通話が終わったら

元のソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。
通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻ります。

受話器の音量を調節するには

通話中はジョグローラーで音量の調節をします。ジョグローラーを回して希望の音量に調節してください。

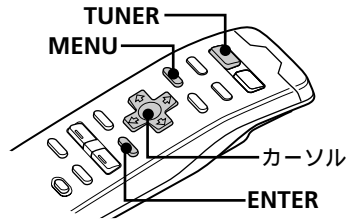
発信・着信履歴を表示するには

SEEK/AMSボタンを押して発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出します。

ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。
SOURCEボタンを押したとき
サービスエリア外や電波が届かない所へ移動したとき
- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないでご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。

その他の設定



着信の設定

- 「チャクシンセイゲン」→ 電話を受けられないようにする（着信拒否設定）
- 「チャクシンオン」→ 本体の着信音をON/OFFする（スピーカーからの着信音はOFFにできません）

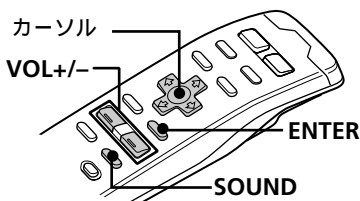
- 1 TUNERボタンを繰り返し押し、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して設定したい項目を選ぶ。
- 4 ←または→を押して設定を選び、ENTERボタンを押す。
- 5 MENUボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

発信・着信履歴を消去する

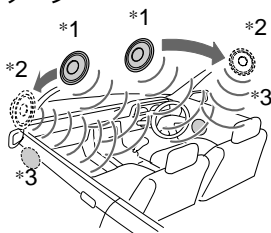
- 1 TUNERボタンを繰り返し押し、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「21: リレキクリア」を選び、ENTERボタンを押す。
「Clear」が数秒間表示され、発信・着信履歴が消去されます。
- 4 MENUボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。さらに好みに合わせてスタジオやホールなどの臨場感(サウンド)の追加もできます。



バーチャルスピーカーのイメージ



- *1 スタンダード
- *2 ワイド
- *3 実際のスピーカー(フロントドア下)

DSOを選ぶ

設定の種類	設定内容
Type 100	バーチャルスピーカー(スタンダード)
Type 100E	バーチャルスピーカー(スタンダード) + 初期反射
Type 100R	バーチャルスピーカー(スタンダード) + 残響
Type 200	バーチャルスピーカー(ワイド)
Type 200E	バーチャルスピーカー(ワイド) + 初期反射
Type 200R	バーチャルスピーカー(ワイド) + 残響
Type R	残響: ホールやシアターなど広い空間を再現
Type E	初期反射: スタジオやライブハウスなど比較的せまい空間を再現
off	DSO設定解除

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「DSO」を選ぶ。



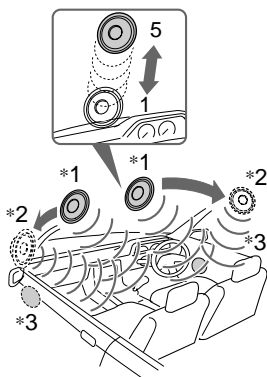
次のページへつづく

DSOを設定する(つづき)

ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、VOL+/-は音量ボタンに戻ります。

効果の調節の目安



- *1 バーチャルスピーカー
- *2 バーチャルスピーカー(ワイド)
- *3 実際のスピーカー(フロントドア下)

ご注意

DSO offでは、音像定位の調節はできません。

- 3 3秒以内にVOL+または-を押してDSOモードを選ぶ。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

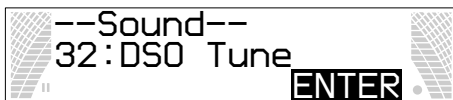
DSOをやめるには

設定の手順3で「off」を選びます。

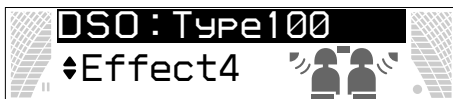
DSOの効果を上下に調節する

8種類のDSOモードには、それぞれの効果の強さを設定することができます。音像定位は1から5まで設定でき、値が大きくなるほど効果が大きくなります。

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「DSO Tune」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 ↑または↓を押して、DSOモードを選び、ENTERボタンを押す。
- 5 ↑または↓を押して、音像定位の上下を調節する。
音像定位は1から5の範囲で設定でき、値が大きくなるほど音像定位は高くなります。



- 6 MENUボタンを押す。

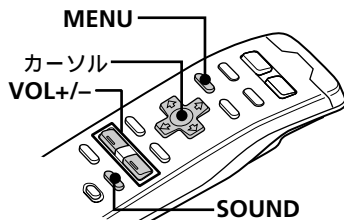
通常の画面が表示されます。

初期設定(工場出荷状態)に戻るには

設定の手順5でENTERボタンを2秒以上押します。

イコライザーを使う(EQ)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「EQ」表示にする。



- 3 3秒以内にVOL+または-を押してイコライザーカーブを選ぶ。
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには
手順3で「OFF」を選びます。

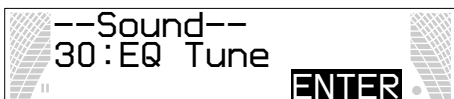
ちょっと一言

- 3秒以上ボタン操作をしないと、VOL+/-は音量ボタンに戻ります。
- VOL+を押すと、
Rock → Vocal →
Jazz → Classic →
Groove → Talk →
Techno → Custom →
off
と変わります。

イコライザーを使う(つづき)

好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「EQ Tune」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 ↑または↓を押してイコライザーカーブを選び、ENTERボタンを押す。



- 5 ←または→を押して周波数を選ぶ。
- 6 ↑または↓を押してレベルを調節する。
手順5と6を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。
- 7 MENUボタンを押す。

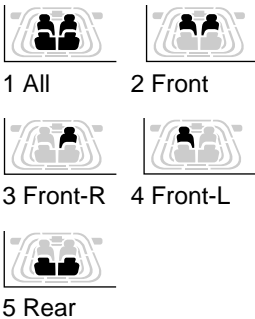
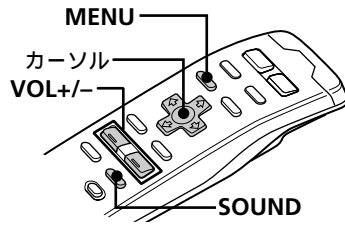
各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順5でENTERボタンを2秒以上押します。

ご注意

EQ offでは、イコライザーカーブの調節はできません。

リスニングポジションを設定する (POS)

聞き手の位置 (リスニングポジション) を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されており左右および前後方向に微調整することができます。



ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、VOL+または-は音量ボタンに戻ります。

設定を選ぶ

設定の種類	設定内容
All	全席 (運転席 / 助手席 / 後席)
Front	前席 (運転席 / 助手席)
Front-R	前方右 (運転席)
Front-L	前方左 (助手席)
Rear	後席
off	ポジション設定解除

- 1 設定したいソース (CD、MD、ラジオなど) を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「Position」を選ぶ。



- 3 3秒以内にVOL+または-を押してリスニングポジションを選ぶ。
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

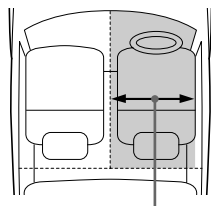
[次のページへつづく](#)

リスニングポジションを設定する(つづき)

ちょっと一言

「off」ではリスニングポジションの微調整はできません。

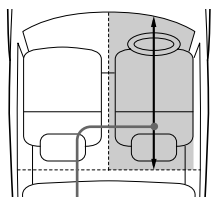
左右の調整



音場の中心

前後の調整

例：Front-Rの設定時



音場の中心

リスニングポジション設定を解除するには
設定の手順3で「off」を選びます。

リスニングポジションを微調整する

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「POS Tune」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 ↑または↓を押して調節するポジションを選び、ENTERボタンを押す。



- 5 ←または→を押して左右の調整をする。



- 6 ↑または↓を押して前後の調整をする。

- 7 MENUボタンを押す。

通常モードに戻ります。

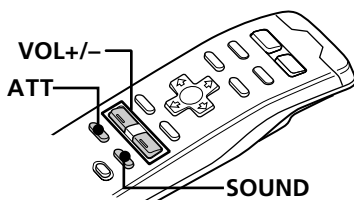
初期設定(工場出荷状態)に戻すには
上記の手順5でENTERボタンを2秒以上押します。

音のバランスや音質を設定する

(バランス)

(ATT)

(ソースサウンドメモリー)



ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとに
EQ → Position → DSO
→ Balance → Front →
Rear → Sub → 通常画面
→ EQ
と切り換わります。

ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしな
いと、VOL+または-は音
量ボタンに戻ります。

ちょっと一言

ロータリーコマンドの
ATTボタンでも操作できま
す。

出力バランスを調節する

左右のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、「Balance」にする。



- 2 3秒以内にVOL+または-を押して出力バランスを調節する。

約3秒後に、通常モードに戻ります。

音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

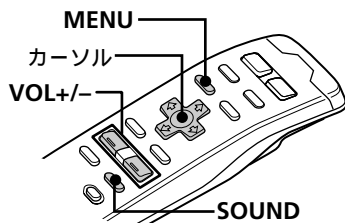
もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(FM、AM、MD、CD、TV、AUX、TEL)ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

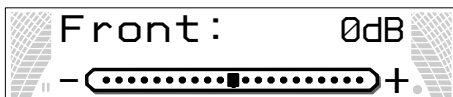
スピーカーの出力を設定する

フロントまたはリア音声出力端子に接続したスピーカーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。



出力レベルを調整する

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、**「Front」**または**「Rear」**にする。



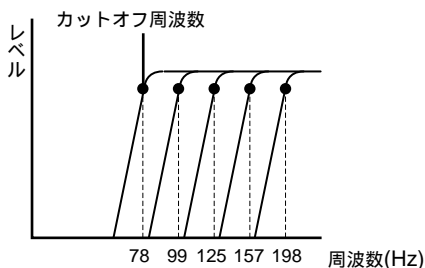
- 3 3秒以内にVOL + または - を押して出力レベルを調整する。
約3秒後に、通常のモードに戻ります。

ちょっと一言

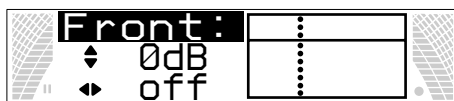
3秒以上ボタン操作をしないと、VOL + または - は音量ボタンに戻ります。

フロント/リアスピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

高音質スピーカーの性能を生かすためフロントとリアを独立してカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、フロント/リアスピーカーの設置場所を意識させない、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して、「33: Front HPF」または「34: Rear HPF」を選び、ENTERボタンを押す。



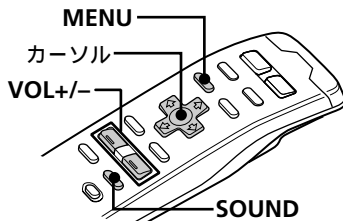
ちょっと一言

- ←または→を押すごとに off (初期値) ↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔ 198Hz と変わります。
- ↑または↓を押すと出力レベルを調整できます。

- 4 ←または→を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ↑または↓を押して出力レベルを調整する。
- 6 MENUボタンを押す。
通常のモードに戻ります。

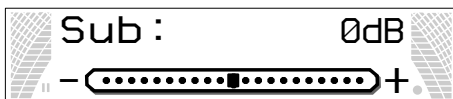
サブウーファースの出力を設定する

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファースの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。



出力レベルを調整する

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「Sub」にする。



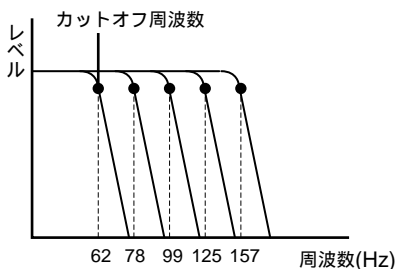
- 3 3秒以内にVOL + または - を押して出力レベルを調整する。
約3秒後に、通常モードに戻ります。

ちょっと一言

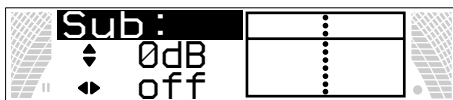
3秒以上ボタン操作をしないと、VOL+ または - は音量ボタンに戻ります。

カットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「35: Sub LPF」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 ←または→を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ↑または↓を押して出力レベルを調整する。
- 6 MENUボタンを押す。
通常のモードに戻ります。

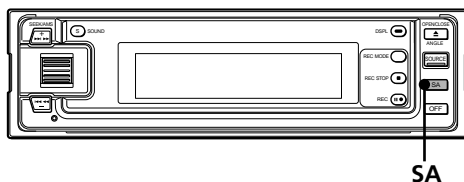
ちょっと一言

- ←または→を押すごとに
62Hz ↔ 78Hz ↔ 99Hz
↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔
off
と変わります。
- ↑または↓を押すと出力レベルを調整できます。

スペクトラムアナライザーを選ぶ

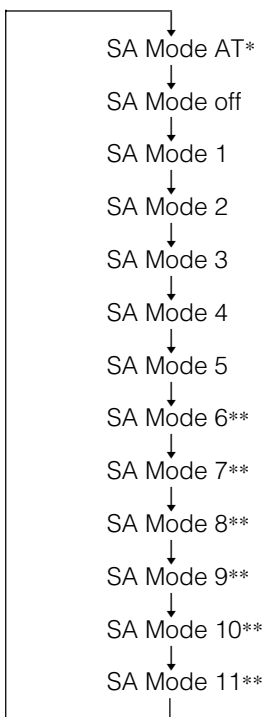
(SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。基本表示パターンは5種類の中から選ぶことができます。さらに別売りのCDプレーヤーCSX-G44を接続した場合は、合計11種類のパターンが表示できるようになります。



表示パターンを選ぶ

再生中に本体のSAボタンを繰り返し押す。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

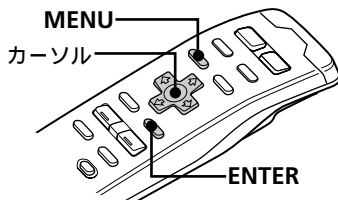


- * すべての表示パターンを順番に表示
- ** CDプレーヤーCSX-G44接続時のみ

表示パターンによっては、ディスク名、曲名及び再生経過時間などを表示しないものがあります。

音や表示などの設定を変える

(Set up/Display)



Set upメニュー

設定の種類	設定内容
「Time set」	時計の設定(9ページ)。
「AM Skip」	AM放送をバンドから除く。 「ON」 → AM放送をスキップする。 「OFF」 → 通常通りの表示。
「Rotary Remote」	ロータリーコマンドのつまみの操作方向を切り換える。 「norm」 → 初期設定の回転方向。 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。

Displayメニュー

設定の種類	設定内容
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「AT」 → 車の照明をONにすると表示が減光する(車の照明電源に接続されている場合のみ)。 「ON」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「OFF」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Display」	画面表示をON/OFFすることができません。 「ON」 → 常時、表示する。 「OFF」 → ボタン操作後、消灯する。もう一度いずれかのボタン操作をすると、約5秒間表示されます。

ちょっと一言

MENUボタンの画面は「Display」の設定を「OFF」にしても常時表示されます。

次のページへつづく

音や表示などの設定を変える(つづき)

ちょっと一言

Screen Saverを「1」か「2」にしている時は、一定時間何も操作をしないと、画面がスクリーンセーバーの様に動きます。

ご注意

Side Patternの設定にかかわらず、録音待機中および録音中は、それぞれ特有のサイドパターンが表示されます。

設定の種類	設定内容
「Auto scroll」	MDまたはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる。(36ページ)
「Screen Saver」	一定時間何も操作しないと表示される画面のパターンを選ぶ。 「1」/「2」→ パターン1/2 「OFF」 → スクリーンセーバーを使わない。
「Side Pattern」	画面左右の表示パターンを選ぶ。 「AT」 → パターン1から4を自動的に切り換える。 「1」「2」「3」「4」→ パターン1/2/3/4

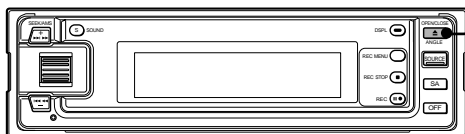
設定を変える

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して設定したい項目を選ぶ。
- 3 ←または→を押して調節したい設定にする。
(例:「ON」または「OFF」)
- 4 ENTERボタンを押す。
- 5 MENUボタンを押す。

フロントパネルの角度を変える

フロントパネルの角度を変えて表示を見やすくします。

ANGLE (OPEN/CLOSE)



ちょっと一言

- 本体のOPEN/CLOSEボタンは押し続けるとANGLEボタンになります。
- いったん2秒以上押し続けた後は、1秒以内にボタンを押しだけでパネルの角度を調整することができます。

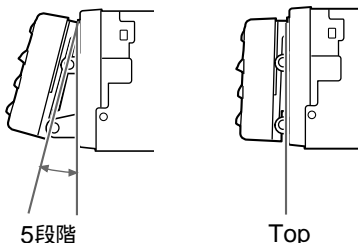
ご注意

- 車のイグニッションキーをLOCKおよびOFFの位置にしたときは、自動的にTOPの位置に閉まりますので指などはさみ込まないようにしてください。
- ACCポジションのない車の場合は、OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消すと、パネルが自動的に閉まります。

本体のANGLE (OPEN/CLOSE)ボタンを2秒以上押し続け、お好みの角度ではなします。

5段階切り換わります。

さらにANGLEボタンを押し続けるとTOP状態になります。



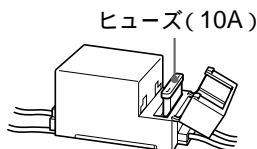
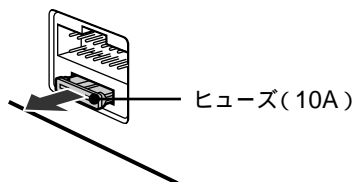
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDレコーダー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

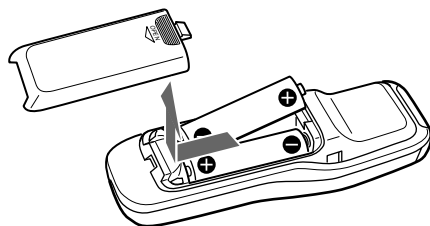
結露したままですとレーザーによる読み取りができず、MDレコーダーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

単3形乾電池2本の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約6か月もちます（使用方法によっては短くなります）。ワイヤレスリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにワイヤレスリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりワイヤレスリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、ワイヤレスリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではワイヤレスリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にワイヤレスリモコンを近づけて操作してください。

MDの編集について

MDでは、曲番(頭出しマーク)で曲と曲を区切っています。この曲番によって、曲の頭出しなどがすばやくできます。曲番は、録音の内容に関係なく付けられますので、音楽として1つの曲であっても、途中で曲番を付けることによって複数の「曲」に分けることもでき、逆に、複数の音楽を1つの「曲」としてまとめることもできます。

曲番の付きかたは録音のしかたや録音状況によって異なります

録音方法	曲番が付く位置
ラジオを録音する(14、42~43ページ)	録音を一時停止したところ
CD/MDから録音する(15、38~41ページ)	• CD/MDと同じところ • 録音を一時停止したところ

曲番は、録音後もMD編集によって消したり付いたりすることができますので、ラジオから録音したときなど、思ったところに曲番が付いていない場合に付け直すことができます。

曲番を正しく直すには

- 曲番を消す
→「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(49ページ): 曲番を消すことによって、前後の「曲」が1つの「曲」になります。
- 曲番を追加する
→「曲を分ける(ディバイド機能)」(47~48ページ): 曲番を追加することによって、1つの「曲」が2つの「曲」に分けられます。

こんなこともできます

- 1曲ずつ消す
→「曲を消す(イレース機能)」(44ページ)
- MDの内容をすべて消す
→「曲を消す(イレース機能)」(45ページ)
- 曲順を入れ変える
→「曲を移動する(ムーブ機能)」(50~51ページ)
- 好きなところを頭出しする
→「曲を分ける(ディバイド機能)」(47~48ページ)
- 好きなところをつないでメドレーにする
→ 次の機能を組み合わせて使います。
 - 「曲を移動する(ムーブ機能)」(50~51ページ)
 - 「曲を分ける(ディバイド機能)」(47~48ページ)
 - 「曲を消す(イレース機能)」(46ページ)
 - 「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(49ページ)

ご注意

編集後、MD取り出し時に「TOC WRITING」表示が点灯します。

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「Disc Full」が表示される。

255曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full」が表示される。

同じディスクで録音、消去を繰り返すと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは、曲の区切り(1曲)と同じ扱いになり255曲になると、録音できなくなります。

さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない。

つなごうとする曲のデータがディスク上に分散しており、それぞれのデータの長さが8秒以下のとき、その曲の曲番を消して前の曲をつなぐことはできません。また、つなごうとする曲がデジタル録音のものとアナログ録音のもの場合は、その2曲をつなぐことはできません。

ディスクに録音した時間と残りの時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない場合がある。通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒に満たない場合でも2秒分のスペースを使います。また、録音を止めたあとまた録音を始めるときは、録音を始めたところで約2秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大6秒短くなります。

編集した曲を再生、または再生しながら早送り、早戻しするときに音が途切れることがある。

短い曲がディスクの上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

[次のページへつづく](#)

MDのシステム上の制約について(つづき)

デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて(シリアルコピーマネージメントシステム)

デジタルオーディオとは、音声信号を数値(デジタル)でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク(CD)、ミニディスク(MD)、デジタルオーディオテープ(DAT)などがこれにあたります。

これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。

本機の設計はこのシステムに準拠していません。概要は右記の通りです。

デジタル信号同士のコピー*は1世代まで

原則1

市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

原則2

市販のアナログ音楽ソフト(アナログレコードやミュージックカセットテープ)や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

MDプレーヤーのアナログ出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

* コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 音量を上げてください。● ATT機能を解除してください。● スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。2スピーカーで聞くとときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">● リセットボタンを押した。● 動作電源コードまたはバッテリーを外した。● 電源コードが正しく接続されていない。
共通	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定(83~84ページ)を「ON」にしてください。
	なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">● OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押して、時計表示を出してください。● 「Display」の設定がOFFになっている。 → Displayの設定をONにしてください(83~84ページ)。
	別売りのCDプレーヤーCSX-G44のスピーアナが動かない。	CSX-G44のローカルリンク入力コードが本機のローカルリンク出力コネクタにしっかり接続されていない。
	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">● すでに別のディスクが入っている。● ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上に入れてください。
MD/CD	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">● CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。● ディスクが傷ついている。● 本機の取り付け角度が20°を越えている。● 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。● MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
MDが再生できない。	何も録音されていないMDが入っている。 → 録音済みのMDに入れ換えて下さい。
録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっている(「Protected」が表示される)。 → MDの誤消去防止つまみを戻して穴を閉じる。 ● 再生専用MDが入っている(「Pre Mastered」が表示される)。 → 録音用MDと交換する。 ● MDの録音できる残り時間が足りない(「Disc Full」が表示される)。 → 不要な曲を消すか、別のMDと交換する。
録音した音がとぶ。	振動の多い道路などで録音した。 → 振動の少ない場所で録音する。
受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブスターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 ● カーアンテナとの接続を確認してください。 ● オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 ● 周波数を確認してください。
←または→、本体のSEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「Local」と表示されている場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 表示を消してください(57ページ)。 ● 電波が弱くて自動選局できない。 → ←または→、本体のSEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。

M
D

ラ
ジ
オ
/
テ
レ
ビ

症状	原因・処置	
ラジオ/テレビ	ステレオ放送が聞きにくい。	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を確認してください。 電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください(58ページ)。
	AMに切り換えられない。	<ul style="list-style-type: none"> AM Skip 機能がONになっている。 →OFFにしてください(83~84ページ)。
サウンド設定	音がでない、または音が小さい。	DSOやリスニングポジションの調節でエフェクトレベルを上げすぎて、後部座席のスピーカーの音量が自動的に小さくなった。または、バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなった。 →サウンドを調節します。スピーカーバランスはサウンドの設定(77ページ)で調節できます。
	通話相手の音声聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーの音量が「0」または最小になっている。 →本機のジョグローラーを回して音量を調整してください。 走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。
携帯電話	ダイヤルしたが話中音がしてつながらない。	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号が間違っている(市外局番を入れていない)。 通話相手が圏外にいる。 電波の弱いところにいる。 →サービスエリア内でダイヤルしてください。 アンテナを十分に伸ばしていない。
	ジョグローラーを押しても発信できない。	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっている。 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっている。
	携帯電話機に登録されたメモリが呼び出せない。	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっている。 携帯電話ハンズフリーキットXCH-1000で取り込むことのできるプリセット番号以外の番号に登録されている。(67ページ) 登録されているメモリ件数が多いため、呼び出すのに時間がかかっている。 →しばらくお待ちください。(最大5分)
	電話がかかってこない。	携帯電話の着信制限がかかっている。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
携帯電話 電話がかからない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「ケンガイ」(圏外)や「ハッシンフノウ」(発信不能)が表示されている。 →しばらく待ってからかけ直してください。 • 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている。→しばらく待ってからかけ直してください。
「No phone」と表示される。	携帯電話が接続されていない。 →携帯電話を接続してください。

CD/MDのメッセージ、エラー表示

本機や本機に接続されたCDプレーヤーCSX-G44、CDチェンジャー、MDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank Disc	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
High Temp	周囲の温度が50 以上になった。	50 以下に下がってから再生する。
No Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
No Magazine	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NG Discs	チェンジャー内のディスクが何らかの原因ですべて再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
Disc Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。

MD録音のメッセージ、エラー表示

エラー表示	原因
Cannot Copy	市販の音楽ソフトをコピーしたものをデジタル録音しようとした。
Cannot REC	録音しようとしたが、ディスクの情報が読めず録音できない。
Disc Full	録音可能時間が少なく、録音できない。 すでに255曲録音されていて新しい曲が録音できない。
High Temp	録音中、TOC WRITING中に、高温状態になり継続することができなくなった。
NO D-In	光ケーブルが接続されていない。 CD-ROMディスクを音声として、デジタル録音しようとした。
Pre Mastered	市販の再生専用MDに録音しようとした。
Protected	ディスクが誤消去防止ロック(プロテクト)されている(6ページ)。
UTOOC Write NG	録音、編集された情報を、ディスクに書き込むことができなかった。
Write Error	正常に録音することができなくなった。

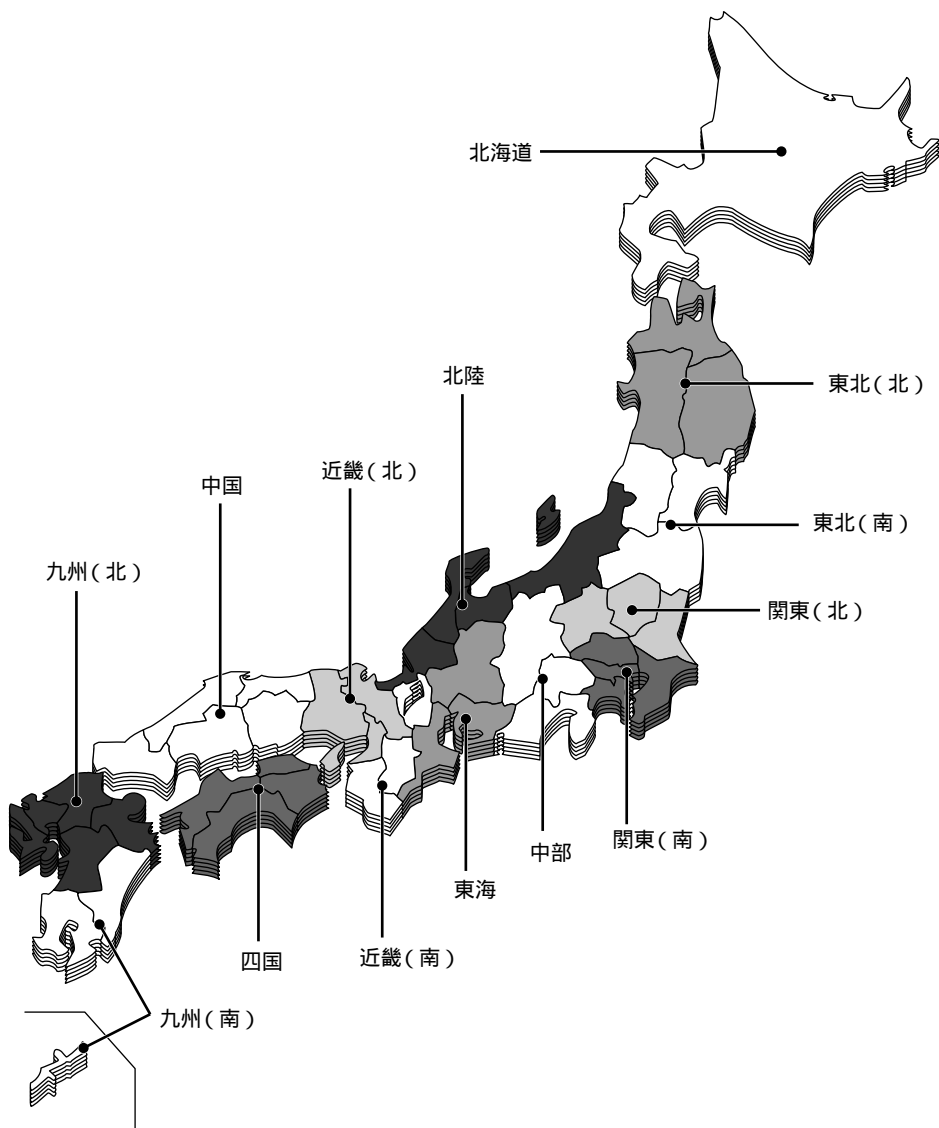
[次のページへつづく](#)

故障かな?(つづき)

MD編集のメッセージ、エラー表示

エラー表示	原因
Complete	EDIT正常終了
Impossible	<ul style="list-style-type: none">• 曲数がいっぱいの状態(最大255曲)で曲を分けようとした。(Divide)• 曲の先頭で曲を分けようとした(Divide)• 同じ曲どうしをつなげようとした(Combine)• つなごうとした曲がMDのシステム上の制約(89ページ)で、つなげない状態になっている。• 同じ曲順に移動しようとした(Move)
Name Full	入力可能な文字数(約1700文字)がすでに記録されている。
No Name	ディスクまたは曲の名前を消そうとしたが、名前がついていない。
Pre Mastered	市販の再生専用MDに編集しようとした。
Protected	ディスクが誤消去防止ロック(プロテクト)されている(6ページ)

エリアコール一覧



放送局一覧

この放送局一覧では、エリアコール機能により本機に記憶されている放送局(1998年10月現在)について記載しています。

ちょっと一言

登録されたエリアコールは、地域によってローカル局を受信してしまい、表示されている放送局名と放送内容が変わってしまう場合があります。

北海道

AM (単位: kHz)

放送局	周波数							
NHK-1 (NHK 第1)	567	585	603	621	675	792	837	927
	945	1026	1161	1188	1341	1584		
NHK-2 (NHK 第2)	702	747	1125	1152	1467	1602		
HBC ラジオ (北海道放送)	801	864	900	1098	1269	1287	1368	1404
			1449	1494	1557			
STV ラジオ (札幌テレビ放送)	639	882	909	1062	1071	1197	1440	1485

FM (単位: MHz)

放送局	周波数							
AIR-G' (FM 北海道)	76.4	78.5	79.2	80.4	81.9	83.1	86.4	87.8
	88.8	89.4						
NORTH WAVE (FM ノースウェーブ)	77.2	79.4	79.5	79.8	80.7	82.1	82.5	
NHK FM	81.6	84.3	84.5	85.2	85.8	86.0	87.0	87.5
	88.0	88.2	88.5	89.1	89.9			

東北(北)

AM (単位: kHz)

放送局	周波数							
NHK-1 (NHK 第1)	531	846	792	963	999	1026	1161	1323
	1341	1503	1584					
IBC ラジオ (岩手放送)	684	1062						
NHK-2 (NHK 第2)	774	1359	1377	1386	1467	1521	1539	1602
ABS ラジオ (秋田放送)	801	936	1485	1557				
アオモリハウソウ (青森放送)	1215	1233	1485					
AFN	1575							

FM (単位: MHz)

放送局	周波数							
エフエムイワテ (エフエム岩手)	76.1	77.0	79.2	79.7	80.3	80.7	82.2	85.9
	89.3							
エフエムアオモリ (エフエム青森)	80.0	78.4	81.3	84.3				
FM アキタ (FM 秋田)	77.1	77.7	78.0	78.9	82.8	89.2	89.7	
NHK FM	81.8	82.7	83.1	83.4	83.6	83.8	84.9	86.0
	86.7	88.3	85.1	85.5				

東北（南）

AM	(単位：kHz)							
放送局	周波数							
NHK-1 (NHK 第1)	540	846	891	981	1026	1161	1323	1341
	1368	1584						
YBC ラジオ (山形放送)	918							
NHK-2 (NHK 第2)	1035	1089	1359	1512	1521	1539	1602	
トウホクホウソウ (東北放送ラジオ)	801	1215	1260	1557				
ラジオフクシマ (ラジオ福島)	1458	1098	1395	1431				

FM	(単位：MHz)							
放送局	周波数							
エフエムセンダイ (エフエム仙台)	77.1	81.3	81.4	84.1				
FM ヤマガタ (FM 山形)	76.9	77.3	78.2	80.4				
フクシマ FM (ふくしま FM)	81.8	78.6	79.8	82.8				
NHK FM	82.1	82.5	83.3	83.6	84.2	84.3	84.6	85.3
	85.9	86.0	86.1	88.3				

関東（北）

AM	(単位：kHz)							
放送局	周波数							
NHK-1 (NHK 第1)	594							
NHK-2 (NHK 第2)	693							
TBS ラジオ	954							
ブンカホウソウ (文化放送)	1134							
イバラキホウソウ (IBS 茨城放送)	1197	1458						
ニッポンホウソウ (ニッポン放送)	1242							
トチギホウソウ (CRT 栃木放送)	864	1062	1530					

FM	(単位：MHz)							
放送局	周波数							
エフエムトチギ (エフエム栃木)	76.4	78.3	78.5	79.1	84.4			
ホウソウダイガク (放送大学)	77.1	78.8						
NHK FM	80.3	81.6	82.9	83.2	83.4	83.7	84.2	
エフエム群馬 (エフエム群馬)	76.7	77.8	79.4	82.0	82.2	86.3		

[次のページへつづく](#)

放送局一覧(つづき)

関東(南)

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
NHK-1 (NHK 第1)	594								
NHK-2 (NHK 第2)	693								
AFN	810								
TBS ラジオ	954								
ブンカハウス(文化放送)	1134								
ニッポンハウス(ニッポン放送)	1242								
ラジオニッポン (RF ラジオ日本)	1422	1485							

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
Inter FM	76.1	76.5							
BAY FM (FM サウンド千葉)	77.7	78.0	79.3	79.7	87.4				
NACK5 (FM 埼玉)	77.5	79.5							
TOKYO FM (FM 東京)	76.7	80.0	84.3						
J-WAVE (FM ジャパン)	81.3								
NHK FM	80.7	81.9	82.5	83.5	83.7	83.9	85.1		
FM ヨコハマ (横浜 FM 放送)	80.4	84.7							

中部

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
NHK-2 (NHK 第2)	639	1359	1467	1476	1512	1521	1539	1602	
YBS ラジオ (山梨放送)	765	1062							
NHK-1 (NHK 第1)	540	621	819	882	927	981	999	1026	
	1161	1341	1584						
SBC ラジオ (信越放送)	864	1098	1197	1458	1485				
SBS ラジオ (静岡放送)	1404	1557							

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
K-MIX (FM 静岡)	78.4	79.2	81.6	85.8	85.9	86.6			
FM ナガノ (FM 長野)	78.1	79.7	80.3	81.5	81.8	83.3	86.4	88.3	
FM-FUJI	78.6	80.5	83.0						
NHK FM	77.4	82.1	83.8	84.0	84.2	84.8	84.9	85.3	
	85.6	85.7	86.0	88.8					

東海

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数					
NHK-1 (NHK 第1)	729	792	846	1161	1341	1368
NHK-2 (NHK 第2)	909	1125	1359	1521	1539	1602
CBC ラジオ (中部日本放送)	801	1053	1062	1557		
トウカイラジオ (東海ラジオ)	864	1332	1458			
ギフホウソウ (岐阜放送)	720	1197	1431	1485		

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数							
ZIP-FM (FM名古屋)	77.1	77.8						
FM ミエ (FM三重)	78.9	78.1	80.4	83.2	84.9	85.5	85.7	
FM AICHI	80.7	81.3						
NHK FM	81.8	82.5	82.8	83.3	83.6	84.4	84.5	84.8
	85.3	85.8	86.1					

北陸

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数								
KNB ラジオ (北日本放送)	738								
NHK-1 (NHK 第1)	540	648	792	837	927	981	999	1026	
	1161	1224	1323	1341	1368	1584			
FBC ラジオ (福井放送)	864	1557							
MRO ラジオ (北陸放送)	1107	1485							
BSN ラジオ (新潟放送)	1062	1116	1530						
NHK-2 (NHK 第2)	1035	1359	1386	1467	1512	1521	1539	1593	

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数							
FM フクイ (FM福井)	76.1	80.3	82.0	82.5	86.3	86.4		
FM-NIIGATA	77.5	79.2	80.4	84.7	86.5			
エフエムイシカワ (エフエム石川)	78.4	80.5	81.9	85.5	89.9			
NHK FM	81.5	82.2	82.3	83.0	83.2	83.4	83.5	84.4
	84.9	85.1	86.0	87.8				
FM トヤマ (FM とやま)	82.7	84.6	85.8					

[次のページへつづく](#)

放送局一覧(つづき)

近畿(北)

AM		(単位: kHz)						
放送局	周波数							
AM コウベ (AM 神戸/ラジオ関西)	558	1395						
NHK-1 (NHK 第1)	621	666	999	1026	1161	1341	1584	
NHK-2 (NHK 第2)	828	1359	1539	1602				
ABC ラジオ	1008							
KBS キョウト (KBS 京都)	1143	1215	1485					
マイニチホウソウ (毎日放送ラジオ)	1179							
ラジオオオサカ (ラジオ大阪)	1314							

FM		(単位: MHz)						
放送局	周波数							
FM COCOLO	76.5							
FM 802	80.2							
fm osaka	77.4	85.1						
NHK FM	82.8	82.9	83.5	83.9	84.2	84.8	86.5	88.1
アルファ・ステーション (FM 京都)	79.8	81.3	85.4	87.2	89.4			
Kiss-FM (FM 兵庫)	77.6	78.3	78.4	79.9	87.1	87.9	89.9	

近畿(南)

AM		(単位: kHz)				
放送局	周波数					
NHK-1 (NHK 第1)	666	945	1026	1161	1584	
NHK-2 (NHK 第2)	828	1359	1602			
ABC ラジオ	1008					
KBS キョウト (京都放送)	1143	1215				
マイニチホウソウ (毎日放送ラジオ)	1179					
ラジオオオサカ (ラジオ大阪)	1314					
ワカヤマホウソウ (wbs 和歌山放送)	1431	1233	1485	1557		

FM		(単位: MHz)						
放送局	周波数							
E-RADIO (FM 滋賀)	77.0							
FM802	80.2							
NHK FM	81.8	82.8	83.2	83.7	83.8	83.9	84.0	84.7
		87.4	88.1					
fm osaka	77.4	85.1						
アルファ・ステーション (FM 京都)	79.8	81.3	85.4	87.2	89.4			

中国

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数							
NHK-2 (NHK 第2)	702	1035	1125	1152	1359	1377	1386	1467
	1521	1593	1602					
KRY ラジオ (山口放送)	765	918	1485					
BSS ラジオ (山陰放送)	900	1431	1557					
NHK-1 (NHK 第1)	1071	603	675	846	927	963	999	1026
	1161	1296	1323	1341	1368	1584		
RCC ラジオ (中国放送)	1350	1458	1530					
RSK ラジオ (山陽放送)	1494							
AFN	1575							

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数							
エフエムサンイン (FM 山陰)	77.2	77.4	78.8	82.1	83.4	86.6		
ヒロシマ FM ホウソウ (広島エフエム放送)	76.4	77.1	77.8	78.2	80.4	81.3	81.4	81.7
	82.3	83.5	86.3					
エフエムヤマグチ (エフエム山口)	77.7	77.9	78.6	79.2	81.6	88.6		
NHK FM	80.1	83.1	83.3	83.7	84.0	84.3	84.5	84.8
	85.3	85.5	85.7	85.8	85.9	88.3	88.7	
オカヤマ FM (おかやま FM)	76.8	82.9	83.8	84.1				

四国

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数							
RKC ラジオ (高知放送)	900	1197	1395	1557				
NHK-1 (NHK 第1)	792	846	945	963	990	999	1026	1161
	1323	1341	1368	1584				
ナンカイホウソウ (南海放送ラジオ)	1116							
NHK-2 (NHK 第2)	1152	1035	1359	1467	1476	1512	1521	1539
	1602							
シコクホウソウ (四国放送ラジオ)	1269							
RNC ラジオ (西日本放送)	1449							

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数							
エフエムカガワ (エフエム香川)	78.6							
FM エヒメ (FM 愛媛)	77.6	78.8	79.7	80.0	82.1	89.2		
エフエムトクシマ (エフエム徳島)	77.7	78.4	80.7	82.3				
エフエムコウチ (エフエム高知)	81.6	78.5	80.6	81.3	82.7			
NHK FM	83.4	84.4	84.8	85.7	86.0	86.5	87.0	87.5
	87.7							

[次のページへつづく](#)

放送局一覧(つづき)

九州(北)

AM										(単位: kHz)
放送局	周波数									
NHK-1 (NHK 第1)	540	612	639	684	756	819	846	945		
	963	981	1026	1161	1323	1341	1503	1584		
NHK-2 (NHK 第2)	873	1017	1377	1467	1512	1521	1602			
OBS ラジオ (大分放送)	1098	1269	1557							
NBC ラジオ (長崎放送)	1116	1233	1431	1449	1458					
RKB ラジオ (毎日放送)	1062	1278								
KBC ラジオ (九州朝日放送)	720	1413	1485							

FM										(単位: MHz)
放送局	周波数									
Love FM761 (九州国際 FM)	76.1	82.7								
エフエムサガ (エフエム佐賀)	77.9	79.9								
CROSS FM (FM九州)	77.0	78.7	86.5	87.2	87.8					
エフエムナガサキ (エフエム長崎)	77.8	78.9	79.2	80.3	79.5					
FM FUKUOKA	80.0	80.7	81.8	82.1	87.0					
NHK FM	81.6	82.2	82.5	82.8	83.0	83.4	83.6	84.5		
	84.8	85.4	85.7	85.8	86.0	86.2	88.9			
エフエムオオイタ (エフエム大分)	84.9	85.1	88.0	89.3						

九州(南)

AM										(単位: kHz)
放送局	周波数									
NHK-1 (NHK 第1)	531	540	549	576	621	792	1026	1161		
	1341	1368	1584							
AFN	648									
RBC ラジオ (琉球放送)	738	1152								
ラジオオキナワ (ラジオ沖縄)	783									
MRT ラジオ (宮崎放送)	936									
MBC ラジオ (南日本放送)	1062	1107								
NHK-2 (NHK 第2)	1125	1359	1386	1467	1512	1521	1539	1602		
RKK ラジオ (熊本放送)	1197									

FM										(単位: MHz)
放送局	周波数									
エフエムカゴシマ (エフエム鹿児島)	76.6	79.0	79.8	80.5						
エフエムミヤザキ (エフエム宮崎)	80.7	83.2	84.9	89.5						
NHK FM	82.2	83.7	84.1	84.7	84.8	85.6	86.2	87.0		
	88.1	84.4								
エフエムオキナワ (エフエム沖縄)	87.3									
AFN	89.1									
FM ナカキョウシュウ (エフエム中九州)	77.4	76.8	76.9	78.4	80.4	81.3	82.0			

保証書と アフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

MDレコーダー部

SN比	94dB
周波数特性	5 ~ 20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76 ~ 90MHz (テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30 ~ 15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.7%(ステレオ) 0.4%(モノラル)
チャンネルセパレーション	35dB以上(1kHz)

AM

受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、160Hz、400Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	\pm 12dB

アンプ部

適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	40W \times 4(4 負荷1kHz)

[次のページへつづく](#)

主な仕様(つづき)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	サブウーファー音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール、 ローカルリンク出力端子
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 光デジタル入力端子、 ATT入力端子(ナビ用)
本体寸法	約178×50×179mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×160mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.9kg
付属品	ワイヤレスリモートコマンダー RM-X99(1) 単3乾電池(2) ロータリーコマンダー RM-X4S(1) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

別売品

CDプレーヤー CSX-G44
CDチェンジャー(10枚) CDX-828、CDX-727など
MDチェンジャー(6枚) MDX-65など
DVDナビゲーションシステム (TVチューナー付き) NVX-DV733
PDCハンズフリーユニット XCH-1000
パワーアンプ XM-405EQXなど
ソースセレクター XA-C30
バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m) RC-62(2m)
バス延長コード RC-U305(0.5m)
RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)
光音声用コード RC-103(60cm) RC-97(2m) RC-98(5m)
光アダプター XA-D110
電源コード RC-39
録音用MD(生ディスク) MDW-80H、MDW-74、 MDW-60

ご注意

本機には別売りのデジタルリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、ドルビーラポラトリーズライセンスिंग
コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許
諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更
することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

イコライザー	73~74
イレイス	44~46
エラー表示	94~96
エリアコール	55、97
音量	12~13

カ行

カスタムファイル	33~34
コンバイン	49

サ行

サイマルプレイ	66
サブウーファー出力	80~81
スクロール	36、84
ステーションメモ	61~62
シャッフル	27
ステレオ放送	58
スピーカーバランス	77
スペクトラムアナライザー	82
ソースサウンドメモリー	77

タ行

ディスクメモ	33~34
テレビ	63~66
名前をつける	64
登録	63~64
自動登録	55~56
ラジオ局	55~56、59
テレビ局	63~64
ディバイド	47~48
時計	9

ナ行

名前

消去する	
.....	34、53~54、62
つける	33、52~53、61
表示する	35、60
ネ・ム	52~54

ハ行

バランス	77
ヒューズ	86

表示窓

メニュー	18
MD/CD	22
ラジオ	56
プログラム	28~32
フロントパネル	85
ベストチューニングメモリー	
(BTM)	56

編集

曲を消す	44~46
曲をつなぐ	49
曲を分ける	47~48
名前をつける	52~54
曲を移動する	50~51
ボタンの音	83~84

マ、ヤ行

ム・ブ	50~51
-----	-------

ラ、ワ行

ラジオ	13、55~62
自動選局	57
登録	55~56、59
名前で探す	60
名前をつける	61
リスニングポジション	75~76
リスト	35、60
リセット	8
リピート	26
リモコン	
ロータリーコマンダー	
.....	20~21
ワイヤレスリモコン	
.....	16~17

録音

曲	15、38~39
ディスク	15、40
プログラム	41
ラジオ	14、42~43

アルファベット順

ATT	77
Balance	77
MD/CD	22~37
ディスク名の一覧	35
名前で探す	35
名前を消去する	34、53~54
名前をつける	33、52~53
CD TEXT	36~37
Display	
AutoScroll	36、84
Dimmer	83~84
Display	83~84
Screen Saver	84
Side Pattern	84
Edit	
AreaCall	55、97
BTM	56
Combine	49
Divide	47~48
MD Erase	44~46
MD Name edit	52~53
MD Name erase	53~54
Move	50~51
Name edit	33、61
Name delete	34、62
Preset	59
Play Mode	
Diver	58
Local	57
Mono	58
PGM	28~32
Repeat	26
Shuffle	27
Set up	
AM Skip	57、83~84
Beep	83~84
Rotary remote	83~84
Time set	9、83~84
Sound	
EQ Tune	74
DSO Tune	72
Front HPF	79
POS Tune	76
Rear HPF	79
Sub LPF	81

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Sony Corporation Printed in Japan

Sony **on** line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



* 1 - 3 - 8 6 7 - 4 9 6 - 0 3 * (1)